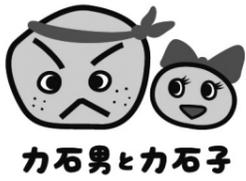


2012年11月
第 35 号



わがまち 下倉田

スリム
G30 のその先へ
ヨコハマ3R夢!

発行責任者：下倉田町内会会長 吉原 鋭一
編集責任者：広報文化部長 中澤 清
TEL 045-864-1940
印刷所：(有)豊田印刷所

下倉田の昔と今

元相談役 吉原 定義



今年の夏は今までにない暑い日が続きましたが、このところ朝晩だいぶ冷え込んで秋が深まってまいりました。皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

ところで、当地区は、昔は山林、水田、畑などであった。今は、住宅、アパート、マンションでいっぱいである。

下倉田は昔、江戸より十里半で小坂郷と唱う戸数五十戸と相模風土誌に書かれている。村の中央に金沢街道が通り、柏尾川添いには鎌倉街道と小菅ヶ谷境に鎌倉街道と古道が三本も通り当時としてはかなりの往来があったものと思われる。しかし今は開発が進み、昔の面影は無く当時を知る人も少なくなった。今から百三十年前、明治十五年前の地勢や家屋農耕地等を現在と比較してみる。

明治十年ごろには神社一、寺二、農家五十戸、兼農大工一、兼農木挽一で、土地は水田三十六町八反、畑二十六町八反、山林二町、宅地三町二反であった。水田は、昭和四十九年で全く無くなった。現在は、専業農家は一戸しかない。大部分は農業をやめて勤めに出たり、借家借家アパートを経営している。下倉田に電灯が灯ったのは大正八年で、それまでのランプ生活から電灯の下での生活に変わった。大正十二年九月一日の関東大震災では、母屋六棟が倒壊し死者一名であった。

下倉田は当時鎌倉郡豊田村字下倉田と称していた。昭和十四年四月二日をもって一町七ヶ村が横浜市に編入された。一町七ヶ村とは、戸塚町、本郷村、豊田村、川上村、中川村、大正村、中和村、瀬谷村の七ヶ村である。昭和二十一年に下倉田町内会が設立された。昭和三十年代になると、住宅建設の開発が急速に進んだ。昭和三十三年には小松が丘団地ができる。(元、山林にできた純鉄工場―日東農産の跡地)昭和三十六年には、日本油脂工場ができる。(元、水田跡地)昭和三十六年日本鋼管団地ができる。(元、村の共有地や山)昭和四十二年に幸ヶ丘団地ができる。(元、山林と雑木林と畑)昭和五十二年には富士ヶ丘団地ができる。(元、山林を箱根登山が造成)昭和五十六年に野村団地ができる。(元、水田に造成した奥野電気の跡地)昭和六十一年にコスモ団地ができる。(元、雑木林)昭和六十三年には飛栄にれの街団地ができる。(元、雑木林)平成八年にはブロードスクエア団地ができる。(元、水田に日本連合紙器工場―本州製紙工場)このように昔の水田や畑、山林などが造成されて団地ができ、現在十ヶ所もの団地を併合した下倉田は今や大町内となった。

下倉田の地に本校が開校して今年で四十二年目を迎えます。この間、地域の皆様のご支援を賜りながら、一万二千人以上の卒業生を送り出すことができました。心より御礼申し上げます。また、特に学校周辺にお住まいの皆様や通学路に面している場所にお住まいの皆様におかれましては、騒音や道路上の通行の問題、時には生徒の心ないたずらなどをご迷惑をおかけしています。この誌面をお借りいたしまして、改めてお詫び申し上げます。現在の豊田中学校には、七百五十名近い生徒が在籍し、毎日学習に、学校行事に、部活動にと頑張っています。今年度は授業時数の確保のため、例年より一週間早い八月二十七日から夏休み明けの授業が始まりました。残暑厳しい中でしたが、汗だくになっても、九月に入ってすぐに行われる定期試験に向けて、多くの生徒が一所懸命に学習に取り組んでいる姿に感心させられました。来年度からは普通教室に空調設備が整備され、暑い時期の学習環境が改善される予定です。

本校は開校以来、伝統的に部活動が盛んで、多くの卒業生が市大会や県大会、あるいは関東大会、全国大会で活躍してきました。現在も多くの部活動で生徒が活発に活動し、好成績をあげています。また、本校は、文化部の数が多く、文化部で活動する生徒も多いことが、特徴の一つです。生徒会本部を中心に各実行委

42年目を迎えました

豊田中学校 横濱市立豊田中学校 校長 村本淳一

員会や専門委員会が体育祭や合唱コンクールでも、意欲的に活動しています。さらに、最近では吹奏楽部や合唱部がよく地域の活動に参加させていたいただいて、活躍しています。戦績としては、水泳部・陸上部・男子バスケットボール・マーチングバンドなどが、近年全国大会や関東大会に進出しています。また、男子テニスも県大会出場の常連です。今年度秋季大会では、現在までのところ、バスケットボール男子と野球部が区大会で優勝するなど、戸塚区内では最も部活動が盛んな学校です。

地域にお住まいの卒業生の皆様も、ご多用中とは存じますが、ぜひ一度母校に足をお運びいた

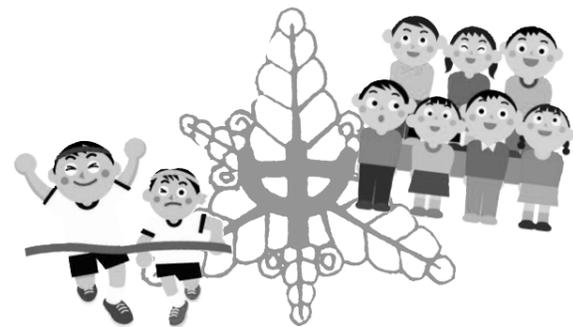
副会長になってはや半年

吉原 範夫



今年度より副会長の重責をお受けしまして、早いもので半年が過ぎました。私は、学生時代とサラリーマン一時期を下倉田で過ごし現在に至っております。また、町内役員も班長として平成十九年より担当してきました。現在町内会副会長は四名で、それぞれ担当を決めてやっておりますが、今回私の担当は防犯防災部、道路交通部、環境衛生

部、資産管理部の職務を分担することになっております。他の多数の役員もそれぞれの領域で活躍されていることが副会長になってから良く分かりました。私の担当の方も五月には消防団・家庭防災員との懇談会、六月には初期消防訓練、防犯懇談会、八月には横浜市民防災センター見学(無料)などを行い良い意見・知識などを得ました。これからも町内会の皆様のご意見・ご協力を得まして、町内が明るくきれいで住み良い下倉田町を目指してやってゆきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。



だき、部活動や学校行事での後輩の活躍を見守って下さい。なお、ご来校の折には、職員室までお声かけ下さいませよう。お願いいたします。今後とも、地域の皆様に変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

豊田小学校での思い出 教師活動を振り返り

鬼島 三男

最近本紙「わがまち下倉田」33号を、同号寄稿の渡辺さんから送って頂きました。読みながら五十年ごろ、学校に勤務していた頃を思い出しました。また町内会長さんも私のクラスの吉原さんとのこと、驚きました。私は、昭和三十一年（一九五六年）の四月に教員採用されず、十二月になってから、やっとのこと豊田小に赴任できました。

最初に行った分校は二・三年生を教えるだけで、私は二・三年生を教えました。オルガンを弾きながら「春の小川」はよく歌いました。オルガンを囲んでの、可愛い児童たちが、一生懸命に歌ってくれて、嬉しかったですね。

お昼の給食も美味しかったです。村松先生や清水先生にお世話になりました。昼休みにはゴロベースをよくやりましたが、田谷の佐藤君という子が上手でしたね。

やがて、本校に戻りました。四月から最初に四年生を担任しました。矢島初代先生と二クラスでしたが、すぐに井上研一先生と三クラスになりました。五年生からは二組に井上先生、三組には水野時子先生で、その後三年間一緒にやりました。その頃の思い出の先生方ですが、三宅校長先生、田中副校長先生、鈴木（女性）、森、建石（女性）、苦米地（女性）、松本（女性）小宮、杉山、大迫、柳生（女性）、戸張、須藤（女性）などいい方ばかりでした。新校舎の二階の学窓からは、東海道線の列車が大船の方へ、吸い込まれるようにじつと見とれていることが多かったんです。授業で困ったことはありませんでした。

校内行事では、運動会や学芸会が楽しかったですね。朝早くから見物席を取るために保護者の方々は一生懸命でした。皆さん家族的でいい方ばかりでした。その後、私は定年までの六十歳まで九校に勤務しましたが、やはり豊田小が一番懐かしいです。

一、わが青春の 夢多き
思いを宿す 柏尾川
花散る岸に 行く水の
自然の声を くみとれば
ああ真理 永遠にあたらし
二、こう野のはてに 夕富士は
千歳かわらぬ 姿にて
鳥かげ遠く 行くところ
明日を彩る あかね空
ああ希望 永遠にかがよう
三、大古のままの 野のみのり
秋は明るき 八幡社
落葉をたけば ほのぼのと
父祖の生命に かよいつつ
ああ郷土 永遠にたたえん

この豊田小の校歌、何と素晴らしい曲でしょうか。歌詞はもとよりメロディも、まさに柏尾川をゆったりと流れる、川面の姿を描いているようですね。よく全校の児童が大きな声で校歌を歌いました。

一、二年生のクラスに代行で教えた行ったときも「何を歌いたい？」と聞くと「わがセイシュン！」と即答する児童が多かったほどです。

豊田小での五年間は私にとっても「わが青春の時代」でした。あの頃からもう五十年ほどが過ぎましたが、お陰様で高齢者施設や町内会で、唱歌や童謡など、好きな音楽ボランティアに参加しています。皆さま今後ともよろしくお願ひいたします。

「事業拠点」シリーズ①

下倉田町には、事業・営業・公的機関など数多くの店舗・施設があり、日々、町内会員も利用されているでしょうが、意外と利用していないかったり、わからない施設・店舗などもあると思います。

そこで今号より、いろいろな視点で店舗・施設の紹介をしていこうとシリーズ「下倉田事業拠点」を企画をいたしました。今回は、「介護・教育」と言う大切な側面を、町を覗いてみたいと思います。

妖怪・伝説物語 3

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく。

古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。今回はその第3回、閉ざされた妖怪・伝説の扉を再び開き、報告していきます。

第三章 蛇の話

（なぜか、どこかへ出かける大蛇）むかし、下倉田の南谷戸と藤が丘の境にたいそう、大きな池があったそう。

池には、池の主だろう大きな蛇が住んでいたんじやと。村人たちは、日が暮れてくると子供達を池に近づけることはしなかったそう。

この大蛇、周りに迷惑をかけたという話は聞いていないから、悪いものではないじやろうて、ただ不思議なことに、時々池を留守にしたそうじや。どこに行ったと思う？

を果たしています。また、教育の側面を見てみると、少子化の中にあつて、将来を担う幼児・児童の育成の場として、あけぼの保育園、戸塚すみれ幼稚園、戸塚ふたば幼稚園、そして豊田中学校。

公文式下倉田町西教室もあります。豊田小学校は栄区にあり、倉田小学校は上倉田町です。

まだまだ、「介護・教育」の視点から見るといろいろと活動しているところがあるのかもしれない。是非、下倉田町内会に拠点があるところがありましたらお知らせください。別の機会に紹介させていただきます。（樋口 賢一郎）

何故も大山に行っていたんじやと。何故大山に行つたんじやと？わしや、蛇じやないからそれはわからん。

だから、この話はこれで終わりじや。びりひやららつたらびりひやらら。（下倉田町南谷戸在住のT・Kさんからの情報です。）

◆エピソード（解説）

この話を某妖怪探訪家の先生に、話したところ、「蛇は神の使いと考えられ、大山にある阿夫利神社の神に定期的に報告に行っていたのでは」とおっしゃっていました。

阿夫利神社の神は水の神、又は酒造の神ともいわれ、それに関連した内容を報告していたのでは（どんな？）、又、大酒いくらでも飲むことをうわばみともいいますね。

第四章 狸の話

（聞くも涙、可愛い狸の恩返し）戸塚から少し離れたしまいませが港南区のためき寺と呼ばれ、東樹院の話です。

下倉田百景

二〇二二年四月二十八日
下倉田町 延命地藏（町内会館前）



下倉田百景の写真募集中
（下倉田地区の写真—きれいなもの・面白い・珍しいなんでも結構です）



昔の話じや、冬の夜中一時ごろ、「今晚は」か細い女の声に住職の耳にとどいたそう。

「道に迷つてしまい、どうぞ一夜の宿をお願いいたします」と言つたそう。

住職は寺にあげ、暖かい粥をたいてもてなし、泊めてやったんだ。

次の日の朝、女は何度も頭をさげ、どこかへ帰って行ったそう。



見つかつたそう。

なんと、寺に泊めた女と同じ服を着ていたんだ。

◆エピソード（解説）
東樹院の茶釜と絵、残念ながら絵は明治十七年の大火事で焼けてしまい、今はありません。

茶釜とこの話を伝える、女の人と狸の像が境内にあります。（写真参照）
町内会の方で昔の不思議話などあったら、どんな話でも構いません、ぜひ町内会に連絡お願いします。どこでも取材お伺い致します。

最近たぬきに取りつかれ徳利を離せない 庶務部長
吉原 憲孝

八幡神社宵宮の開催 2012年9月8日(土)

下倉田八幡神社の宵宮は、天気にも恵まれ、千人以上の参加者が集い、にぎにぎしいお祭となりました。今年も手作りの沢山のイベントや出し物、夜店などで子供から大人までが楽しみました。



神輿渡御 2012年9月9日(日)

Aコース

飛柴にれの街 →
グリーンパーク →
幸ヶ丘 → 鋼管団地 →
大矢戸休憩所 →
中谷戸休憩所 →
野村下倉田 → 宮入



Bコース

コスモスクエア →
リベラヒルズ →
富士ヶ丘 →
豊田中央公園 →
南谷戸休憩所 →
ブロードスクエア →
小松ヶ丘公園 →
野村下倉田 → 宮入



暑い中、大勢の神輿を担ぐ人と同行者が長い行列を作りました。休憩所で400本用意したアイスキャンディが、足りなかったそうです。

第11回下倉田地区連合会スポーツレクリエーション大会

主催：下倉田地区連合会

場所：下倉田中央公園

日時：2012年10月14日(日曜日)

総勢1400名もの地区連合の家族や関係者が集い、楽しい各種スポーツ大会が開かれました。

途中小雨がぱらつきましたが、プログラムの進行も大波乱の末、下倉田緑チームが総合優勝、下倉田紫チームが準優勝と云う、かつてない大快挙となりました。下倉田の優勝は、前回(2010年)の紫チーム優勝に引き続き、連続の優勝となりました。



ひときわ光る優勝カップ



下倉田の夏祭り

幸せをもらった抽選会

久木田みち子

みなさんが真心を込めて書かれたぼんぼりを見ながらお祭りに到着しました。

お祭りのなんとも言えない明るさと雰囲気には、いくつになってもワクワクする気持ちと懐かしさに、つい故郷を思い出させてくれます。

今回は、くじ引き会場のお手伝いをさせていただきました。くじを引く方が「当たりますように」と願いながら引く姿を見るたびに私の方も「当たってくれたらいいな」と、身を乗り出してしまっていました。一等を当てた方が、一瞬「信じられない...」という表情をさしていたのですが、その後は「来て良かったり来て良かったあ」と、とてもうれしそうに言っている姿に「おめでとうございまーす」と鐘を大きく鳴らしてさしあげました。

楽しかった夏祭り準備

徳永さやか

夏祭り、みなさんと同じ時間を共有でき、そしてたくさんの方々の楽しそうな姿や笑顔を見ることができて、私もとても幸せな気持ちになりました。今回、お手伝いをさせていただきまして、本当にありがとうございました。

暑い暑い夏の日の朝、夏祭り準備に参加しました。

お祭りの道具が、ぎっしり詰まっている倉庫から、次々といろいろなものが広いグラウンドに運び込まれ、屋台・受付用テント、入場門、ぼんぼりの飾り付け、食事場所、提灯のセッティング、分別ごみ箱設置... さっきまで何もなかった場所が、あつという間にお祭り会場に早変わり！しました。恐るべし、下倉田町内、パワー！お祭りが始まってからは、抽選会場の受付を、お手伝いさせていただきますました。



準備は、豪華賞品の仕分け、くじ作り、各自何等をお客さんに手渡すかを決めておきました。お客さんを持たさずに効率的に動けるか、不安もありました。そんな中、下倉田町内夏祭りが始まりました。沢山の方が見えました。受付も、良いチームワークのおかげで、スピーディーに、景品を渡す事が出来ました。



抽選で当たった豪華賞品に大喜びはしゃいでる人、又、目当ての賞品ゲット出来ず、悔しそうな人もいました。役員の方々を中心に、沢山の方が協力し運営されている下倉田町内夏祭り楽しかったです。暑い中、お疲れ様でした。

防犯指導員の委嘱を受けて

磯村常介

前任者のご都合により防犯指導員が欠員状態になっていました。後任探しに苦慮していること、町内会長さんから就任要請を受けて、早、六ヶ月が経過しました。

ところで皆さん、「防犯指導員」として一体どんな事をしていくのか知っていますか？

実のところ私自身、予備知識ゼロからのスタートでした。

以下に、本年六月に戸塚警察署長ならびに防犯協会長から委嘱後、数回の研修会・実活動を通じて知りえた範囲の事を記します。

◆組織

・戸塚警察署管内全二八地区で三七名の指導員（下倉田地区三名、内 下倉田町内会一名）

◆活動目的

- ・防犯意識の普及と啓発
- ・青少年の健全育成と非行防止対策の推進
- ・防犯諸団体との連絡調整
- ◆日常の活動例
- ・戸塚駅・東京駅等での防犯キャンペーン

環境パトロール隊を組織

町内クリーン・美化コンテスト！

下倉田町内会では、「町内の美化」を目的にクリーン活動を展開してきましたが、新たにゴミ集積場の「美化コンテスト」を行って、さらに町民のゴミへの意識を高めていくことにしました。半年に一回、決められた日時をコンテスト日として、町内役員がデジタルカメラで、ゴミ集積場の状況を写真に撮り、ゴミ集積場の状況の良し悪しをチェックしてまいります。

第一回のコンテストは九月十四日に行いました。

その結果、各集積場の中から、ベスト1、ワースト1をここに掲載いたしました。



ベスト1
11班山山駅前
2012年10月19日(金)AM10:00

特に、ワースト1につきましては、対策などを講じてまいりたいと考えています。是非、日頃からゴミの分別回収への意識を高め、「綺麗で住みよい、気持ちの良い町」へと、



ワースト1
6班カネヨシハイツ前
2012年10月19日(金)AM10:00

皆さんの協力のもとで、進めてまいりたいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます。なお、このコンテストは、引き続き開催し、掲示板や回覧物、定例会などの報告を通じ、啓発してまいりますので宜しくお願ひ申し上げます。

「最近思う事」

内田千鶴

私には高校生と中学生の息子がいます。今までは子育てと仕事に追われ忙しい日々を送ってきま

区内でも、この九月だけで三件発生しています。また、女性・子供達が被害にあうわいせつ事案も起きています。これからも、安心・安全な地域づくりを目標にして、町内会と連携し、皆様のご協力をお願いしながら「防犯指導員」を努めてまいります。

が、最近の子育ても一段落？自分の時間がだいぶ持てるようになってきました。話は変わりますが、先日下倉田八幡宮でのお祭りに行った時に、書道家の先生が色紙に好きな言葉を書いてくれるという企画がありました。私も野球をやっている息子への言葉として『継続は力なり』と書いていただきました。その色紙を息子に見せ、意味が分かる？的なちよつと偉そうに話をしました。

先にも書きましたが、自分の時間が持てるようになった今、何でもいから何かが一つがんばってみよかなと思っています。過ぎしやすいや季節になってきたのでウォーキングもいいし、水泳教室もいいし、ヨガ教室もいいな。

でもいろいろ手を出してもまた中途半端になっちゃうから、まずは手始めに見えぬふりをしていた家中の片付けからかな！と思う今日この頃です。

自分も忙しさを理由に何をやっても中途半端なことばかりだったような：子供に偉そうな事を言っているが、自分はどうなんだろう：と。

先にも書きましたが、自分の時間が持てるようになった今、何でもいから何かが一つがんばってみよかなと思っています。過ぎしやすいや季節になってきたのでウォーキングもいいし、水泳教室もいいし、ヨガ教室もいいな。

でもいろいろ手を出してもまた中途半端になっちゃうから、まずは手始めに見えぬふりをしていた家中の片付けからかな！と思う今日この頃です。

町内会館の利用を！

本年四月より改修が終わって新装なった下倉田町内会館は、床もフローリング、トイレも男女専用、冷暖房料金も安くなったり、以前の会館に比べると大変利用し易くなりました。

町内会館は、会員皆様の会費の一部の積み立て金で出来上がったもの。是非、多くの会員の方々に、会議の場、研修の場、憩いの場、遊びの場、語らいの場、喜びの場など多くの目的で活用されることを期待しております。現在でも、赤ちゃん教室、子供会、お別れ会、健康体操、カラオケ同好会、おしゃべりサロンをはじめ幅広い利用をいただいております。

是非、会館利用を検討してみたい方は町内会役員にご相談ください。利用に際してのお願いは、什器備品を大切に扱う、チェック点検は必ず行い、電気などの消し忘れのないようにしていただきたいと思ひます。また、震災などの拠点としても少しずつ器材や物資などをそろえてきております。

身近な交流スペースとして是非ご活用ください。(利用料金早見表添付)

区分	利用料	摘要	利用団体例
1	¥10,000 (1日)	物品販売や宣伝	トーカイ、マイブラッシュ
2	¥3,000	町内会会員以外の方が加わる会合 授業料を徴収する趣味・学習など	下倉田地区の連合会の連合協議会 八幡神社祭礼実行委員会 環境事業推進員会 文化体育部(体協・体指・青指共) 地区老人会、友愛活動推進会 小・中学校卒業謝恩会・同窓会 個人演説会、戸塚建職組合
3	¥1,000	住民福祉に関するもの 原則として町内会員による会合及び町内会が助成する団体などの会合 授業料などを徴収しない趣味・学習など	社会福祉協議会(ミニディサービス) 町内会の理事会・定例会以外の会合 福祉保健センター、住民健診、赤ちゃん教室、氏子会、農協婦人部、テレビ協同組合 P.T.A.、友交会、豊中地区懇談会 いちごの会、たんぼぼ スポーツサークル (シャークス、ママさんスポーツなど) 第一明治会(趣味グループ)、囲碁会、書道会
4	¥500	町内会及び町内会助成団体の定例会 年間計画で予約受付	町内会の理事会・定例会などの会合 第一明治会・婦人会・子供会・囃子連の定例会 消防班・家庭防災員・消費生活推進員の会合

アルミ缶も子供会資源回収と同じ月曜に



編集後記

今年の下倉田地区連合スポーツ大会、クリエーション大会(スポレク)が、下倉田町内の緑チームと紫チームの総合優勝・準優勝という大快挙で終わった。前回の二〇一〇年大会の紫チーム総合優勝に引き続きの優勝に運動会参加者・関係者が大喜びをした。かつて、下倉田町内の優勝経験は無く、いつもくやしさを思っていた。拡大する下倉田地区では、若い世代の住む団地やマンションが新しい町内として生まれ、それだけ勢いも強く、スポレクでも良い成績を残していたように。

ところが、下倉田町内も近年は急速に若返りが進み、若い人たちが色々な分野で活躍している。

町内会でも自称「〇〇代の女性班長・組長」が活躍して新しい風土が生まれてきた。

大きく変化しつつある時代にあわせて、年配の役員や経験豊かな方々のアドバンスを受けながら、若い人達が起動力になり、革新的な町内として明るく住みやすい下倉田町内創りを目指していただきたいと思ひます。(中澤 清)

2013 年 5 月
第 36 号



わがまち下倉田

下倉田町内会公式ホームページ: <http://shimokurata.web.fc2.com/index.html>

G30 のその先へ
ヨコハマ3R夢!

発行責任者: 下倉田町内会会長 吉原 鋭一
編集責任者: 広報文化部長 中澤 清
TEL 045-864-1940
印刷所: (有)豊田印刷所

「地域活動担い手づくり講座」報告

二月二日土曜日に、下倉田地域ケアプラザで「地域活動の担い手づくり講座」十年後の下倉田をみんなで考えよう」が開催されました。

講師は認定NPO法人市民セクター

よこはま理事の石井大朗さん、参加者は約三十名。ふだん町内会の活動をしている方や民生委員さん、子育てや趣味の地域活動をしている方が参加しました。六十代の男性の方が参加が目立ちました。

講座の内容は、まず人口動態や横浜市民の地域活動への参加傾向について話されました。横浜市民を対象にした調査では、いまは仕事や育児で忙しいけれど市民活動はしてみたいと思う人が増えているそうです。そうすると、気持ちはあるけど行動に移せない人がたくさんいるということ、ではどうやったらその人たちが地域活動に参加しやすくなるだろうか、

町内活動の希望的未来

下倉田町内会 副会長 浦沢 勉



日本が経済復興した三十四十年前、社会の中心を担っていた若者の大半は、結婚を期に親元を離れ都市部に出て独立し、住宅やアパートに居をかまへ懸命に働きました。

当時用語として言われた「核家族化」は、昨今の社会を覆う諸問題の発生源になっていたように思います。

平成に入り経済が停滞すると学卒の就職さえ困難な状況になり、また地域社会では過疎化や高齢化などが浮き彫りとなって、わが国全体の問題となっています。

我が下倉田町は首都圏近郊である故に、地方と比べ過疎化こそ有りませんが、当地の地域性もあって早くから住宅地化が進んで来たために、住人の高齢化のスピードが高いようでありませう。

それぞれの活動で話されたのは、前任者がサポートしてくれた継続的に集まれる場をつくった会が盛り上がるために活動の記録を残したと、とにかく声かけなどしてはたらかかせる、参加しやすいように役割分担する、子供向けのイベントを企画することで親御さんたちを活動に引き込む、などが話されていました。

最後に参加していた同士がグループで、自分だったらどんな働きかけをしてみるか、お互いが話し合いました。

講演会に参加した方は、ふだん自分の活動の次の担い手をどうしようか悩んでいる方たちばかりで、バトンタッチをする人を見つけて、のほほんとした面談ではないという意見もありました。大変だけれどやってみようという面白かったと感じてもらったためには、今やっている方が楽しむことも必要なのかもしれないですね。

（下倉田地域ケアプラザ 所長 相沢美樹）

みなんで考えてみようという講師からの提案がありました。下倉田の地域の人口は十年前と比べて増えてきていて、特に六十代と三十代後半から四十代前半の方が増えてきています。この子育て世代がそのまま下倉田に住み続けてくれれば、大きな地域の担い手になりそうですね。六十代と四十代前後の方がこの先十年間地域活動に興味を持ってもらえるようにするために、ほんの少しのことが必要なのではないでしょうか。

次に下倉田の地域で「おもしろイイ」活動をしている三人の方が、ご自分の活動について発表し、ご自分がどうやって活動の担い手になっていったのか、仲間をどうやって増やしていったかが話されました。

活動団体名と発表者は、子育て支援サークルみらくるきつず（高杉さん）・グリーンパークボランティアの会（小澤さん）・下倉田シャークス少年野球（樋口さん）です。

今日では常態化している核家族化の影響は、世帯の高齢化と共に独居問題であろうと考えざるを得ません。世帯の高齢化と共に「独居問題」という新たな課題を生じたのです。

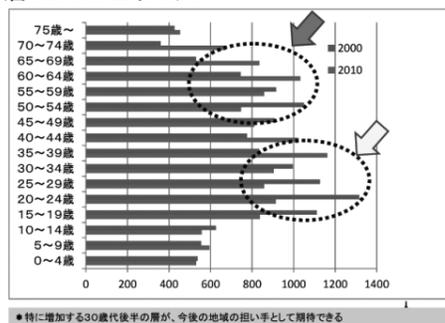
自ずと町内会活動もこれら高齢者の支援が大きな課題となりますが、一方、会自体の高齢化も問題です。幸い町内には相当数の若い住人も増えつつあります。まずはこれらの人達が町内活動に少しでも関わって頂けようという、きっかけ作りをしていかなければならないと考えています。

町内で行われる様々な行事には企画時から参画してもらい、楽しみながら皆で実行出来るよう努力し、老若の交流を活発にして、町内の皆さんがコミュニケーションとして連帯し、お互いが関心を持てるようにして行きたいものです。

生活とは「生き生きと活動する」と解釈すれば、事故や災害などが起こった際には相互で助け合える町作りが理想です。

言い古された言葉ですが「遠い親戚より 近くの他人」の精神で足元を見つめ、皆で住みよい町作りをして行きましょ。

下倉田人口ピラミッド



●特に増加する30歳代後半の層が、今後の地域の担い手として期待できる

当日使用した資料を編集委員で一部変更して使用しています

地域の担い手対策

- 視点1: 仕組みを変える
 - ☑期間限定にする、交代制にする。
 - ☑スキルとマネジメントを分ける
 - ☑共同代表にするなど責任や役割を持ちあう
 - ☑グループをつくり「集立つ」をサポート
 - ☑スキルとマネジメントを分ける
 - ☑スキルとマネジメントを分ける
 - ☑スキルとマネジメントを分ける
- 視点2: その人の「育つ」をサポートする視点をもつ
 - ☑その人のこれからのキャリアをサポート
 - ☑勉強会、交流(ネットワークづくり)
 - ☑認知症、防火管理など
 - ☑ほめる、讃える、励ます、鼓舞する

下倉田は地域全体でみると

世代交代が進み、子育て期以降は住み続けたいと考える人が多い
担い手になる可能性のある人が絶対的に減っていくわけではないが、社会状況などから担い手になりやすい状況だ
会の運営などの仕組みを変えたり、関わってもらう方法を考える必要がある
会の中で担い手づくり担当者を決め、順番を区切って担い手づくりプロジェクトを企画実施しよう

カ石・下倉田町内会のキャラクター

町内会のホームページを昨年の秋に見た四日市大学 健康科学研究室の高島慎介 教授より、下記の内容のものがごと一冊の本「新発見・カ石」が送られてきました。

『四日市大学にて体育史学の立場から全国のカ石を研究するもの』です。

今回知人より、貴町内会のイメージキャラクターとして「カ石男とカ石子」が採用になったホームページについての紹介が寄せられました。

このカ石は、おそらく拙著「新発見・カ石」に掲載のものと思われませんが、違っていましたら所在



「吉原健治宅角・横浜市戸塚区下倉田町1213 ①60×48×26cm カ石の説明文 「昔娯楽の少なかった時代の若者達がここに集まったといわれています。」

前述のハガキの依頼に対して、早速「カ石男・カ石子」のTシャツとキーホルダーを送りましたところ、お礼とともに改めてカ石に関する俳句・川柳等（子供さんをふくめて）をお寄せいただきました。と依頼がありました。

送られた作品は、すべて使用しますとのことです。

町内会の皆様も投稿してはいかがでしょうか。投稿者は、五月末日までに原稿を町内会役員にお渡しください。

「下倉田町内会公式ホームページ」とパソコンで検索していただきますと町内の情報が掲載されていますので一度観てください。

(吉原 鋭一)



この著書には、下倉田のカ石の文と写真が掲載されています。

地などを御教示いただけると幸いです。

また「カ石男・カ石子」のステッカー、Tシャツなどグッズが作成されているようなら購入を希望します。カ石に関する情報、カ石に関する俳句・短歌などを募集しております。(以上三重県亀山市在住の高島慎介 教授から)

投票所のご苦労

浦沢 勉

皆様にお馴染みの選挙の際の投票所は、下倉田町内には通常二ヶ所設置されています。

各投票所には、各地域から管理人一名、立会人二名と投票日の作業を行う従事者など七十名が区の選挙管理委員会から任命され、区役所職員と共に場所の設置、当日の諸作業、撤収など 選挙に関する総ての作業を行います。

普段あまり経験しない作業ですが、選挙の公平性を保つための様々な制約があります。

当然ですが、候補者に関する関わりは厳しく禁じられているほか、投票所内には選挙に係る文字以外は一切見えないように、との規定があり壁周囲の文字を目隠しします。

このように投票所は出来るだけ投票がスムーズに行われることを願って、作業に当たっています。投票日当日は種々の決まりの中での作業ですから、意外に疲れる

町内の架け橋に

戸塚消防団 第七分団 団員 金子 朝子

火の用心 マッチ一本火事の元 火事は国家の大損害

火の用心 火の用心

皆さんは、このような歌をご存知ですか。私は小学校高学年の頃、友達と拍子木を打ちながらこの歌を歌って、集落を回った思い出があります。

今の小学校の子供達には、考えられない事ですね。

当時は、火災予防広報を子供達が担っていたのだと思います。現在の下倉田町内では、役員さん達による夜警が行われ、消防団では、

作業です。十二時間近い投票時間の中では、近隣から投票に来られる人々は顔見知りの人も多く、つい話しかけたくなるのですが、それも出来ません。また、時には理解しかねるような質問を受け、苦慮することもあります。投票時間は厳しく守られるべき事項の一つですので、開始終了の時間は標準時報を受信して報じます。

あまり知られていませんが、投票開始の最初の投票人には、立会人と共に投票箱の中の確認をしていただいた後、施錠いたします。

また、投票所の閉鎖後も速やかに投票箱に施錠し、管理人、立会人の手で開票所に届けることで作業は終了となります。

最近の開票所は、戸塚スポーツセンターで行われており、立ち会って見ることが出来ます。選挙の投票は個人が権利を行使出来る唯一の機会です。投票には積極的に参加しましょう。

毎月一日、十五日の火災予防巡回が行われています。

私は、小学校入学前に新潟地震を、さらに平成十六年福島の折に中越地震を、そして二十三年皆さんにも忘れられない東日本大震災を経験しました。

東日本大震災は、防犯に対する意識を変えるチャンスとなりました。なぜなら、地域の防災は消防署や消防団へと他人任せだったのが、自分で自分を守るという気持ちに変ったからです。

自分を守る↓家族を守る↓地域を守る、さらに町内の人たちの協力へとつながって行けたらと思います。

最近、消防団員の先輩が、中学校に招かれ、日頃の活動を学生に話す機会がありました。

僕たちのチーム

豊田小学校6年生 鈴木 雄馬



「豊田ミニバスケットボールクラブ」は、3月28日から30日まで、東京・代々木体育館で行なわれた全国大会に出場してきました。

1回戦目は、宮城県代表のチームと戦い、52対33で勝ちました。つづけて2回戦目、佐賀県代表



「東日本大震災」被災地復興支援 第44回全国ミニバスケットボール大会

なかなか防災訓練に参加する事の出来ない方々に、このような消防団を身近に感じていただく機会をもっともつと与えてもらいたいと思います。

小学生、中学生、高校生、大学生そして女性団体・・・何か集会の折などに、このように消防団を知ってもらい防災を考へる機会が増えていくことを期待しています。

小学生の時の小さな記憶が今でも心の中にある様に、防災に対する経験(消火器・AEDの取り扱いなど)を多くの方々と一緒に実施できたらと思います。

町内にある身近な消防団となつて、人と人をつなぐ架け橋になつていけることを望みながら団員の活動を続けています。

のチームと戦い56対42とまたまた勝ち、5年前に先輩たちができなかった予選リーグを見事突破して決勝リーグに進む事ができました。そして次の日、石川県代表のチームと戦う事になりました。

大接戦の中、残りわずかな所で、1人抜け、苦戦もしましたが、仲間のみんなががんばってくれたおかげで3回もの延長戦を戦いぬいてくれました。

でも、最後になって、豊田得意の攻撃がでず1ゴール差で負けました。

すごく悔しかったです。

ぼくは全国大会出場を振り返って、平均身長が160cmない小さいチームながらよくこれだけ戦える事が出来たと思ひ、すごくいい経験をしたと思ひ、この経験をいかし、小学校ではなしとげられなかった全国制覇を中学校でできるようにがんばりたいです。

最後の勤務地

戸塚警察署 下倉田交番 開米 利寛

下倉田町地区の皆さん、こんにちは。

私は、下倉田交番において勤務しております開米と申します。

この度、下倉田町内会「わがまち下倉田」に原稿執筆の依頼をいただき寄稿いたしました。

私が、下倉田交番勤務に就きましたのが平成二十年の春です。早五年となります。

そして、私事ではありますが、この春をもちまして、警察人生四十二年における最期を迎えております。

そんな私にとって、最後の勤務地となります戸塚警察署、そして下倉田交番は、私にとって忘れられない思い出の勤務地です。

最後になりましたが、応援してくれた方々、本当にありがとうございました。これからも、まだまだ、チームががんばって行くと思うので、応援よろしくお願いします。

誰もが楽しめる「スポーツフェスティバル」開催準備中!

下倉田連合スポーツレクリエーション大会で、近年連続優勝を収めている「下倉田町内会」では、スポーツ・健康づくりにも関心が高まってきております。

そうした中、今年度新たに、下倉田町内会単独での「ファミリースポーツフェスティバル」を企画中です。開催要領は、10月6日(日)に、永勝寺少年広場で、老若男女を対象に、ゲームの内容は、

下倉田交番の勤務では、各家庭を一戸ずつ訪問する巡回連絡時、各種の事件事故の取扱時等、地区の皆さんそして町内会の役員の方々には、大変お世話になりました。

この紙面をお借りしてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございます。

さて、戸塚警察署においては、「おれおれ詐欺」「女性に対する痴漢行為」等、高齢者や女性等が被害に逢いやすい犯罪と、自動販売機ねらい事件へ予防・検挙を掲げ、拳銃一体となり対策を行ってまいります。下倉田町地区においても、詐欺、痴漢、空き巣、車上ねらい、自転車等の乗物盗等が忘れられたころに発生します。さらに、新入学を迎え行動範囲が広がる子供たちへの注意も欠かせません。

- 一 私は、騙されない
- 二 私は、怖くないわ
- 三 我が家は、大丈夫

誰でも気軽に出来る「輪投げ」「ストラックアウト」「サンダル飛ばし」など五種目を準備して、皆さんに楽しんでいただくよう考えており、出来れば班別対抗なども考えてみたいと思います。

当日、参加いただいた方々には、参加賞をはじめ、景品もたくさん用意して、皆さんの参加をお待ちしています。

また、企画準備の段階から、子ども会、老人会をはじめ、運営ボランティアの協力もお願いする予定です。

是非多くの方々が「元気に、楽しく、賑やかに」交流できることを願っております。

ご期待ください!



とは、被害にあった方々の決まり文句です。

下倉田町内会では、防犯パトロール等各種の活動が活発です。「知らない人が隣ののぞいている」ことなどありましたら、110番通報することに遠慮しないでください。私達が、駆けつけます。町内と交番との連携が必要です。ぜひ協力していただければと思います。

さて、最後になりましたが、先般二月二十二日に、町内の方々と防犯パトロールを企画させていただきました。非常に残念です。しかし、何回か一緒にパトロールさせていただいたことは、私の交番勤務において、良き思い出となっております。

これからも、地域の皆さんと交番との良き連携を保ち、他地域に誇れる下倉田町内会として発展して欲しいと思います。

「事業拠点」シリーズ②

今回は「美容・健康」をテーマに下倉田町内会の街を覗いてみたいと思います。

美容といえば奥様方を中心に女性には欠かせないのが美容室で、近隣の団地・自治会を加えれば成人女性の人口は約五千名を数えるほどだ。

そこで、町内にも数多くの店舗があり、それぞれの固定客をお持ちのようだ。

町内の名簿や地図を広げてみると、「タイニートップ」(1A班内)、「さつき美容院」(1B班内)、「ヨシハラ美容室」(3班内)、「ビューティサロン岡本」(5班内)、「フォルテ美容室」(6班内)、「パステル美容室」(7班内)、「メナードビューティサロン」(8班内)が、理容室

は「理容ゆうずふる」(6班内)、「深田理容室」(3班内)がそれぞれのお客様を迎えて事業を展開している。

健康・スポーツと云った観点から見てみると、三号線沿いのサミット4階にあるパティンゲンセンターや卓球場、5班にはテニスコートがあり、2班には横浜フィールドアーチェリーコースもあって、健康づくりに一役買っている。

スポーツでは、つい最近までアスレチックコースが13班の場所にあつたり、今のサミット付近には人工のスキー場が営業していたのを知っている方はだいぶ少なくなつてしまつて、時の流れの移り変わを感じさせる。

次号では「病院・医療」の観点でご紹介をしてみたいと思います。(樋口賢一郎)

下倉田百景

庚申塔

庚申に秘められた、庚申伝説とは？

幸が丘から舞岡公園の駐車場に向かう橋を渡るとスタジイの木の手に庚申塔があります。

江戸時代に流行した庚申伝説・信仰に基づくもので、この碑は元文2年(1732年)に舞岡村の人によって建てられたそうです。1732年という八代将軍



「これよりかまくらみち」と書かれており弘明寺道と鎌倉道の境にあつたようで、スタジイの木の根元に立っていたそうです。庚申塔にはさまざまなデザインがあるが、藤沢市片瀬の密蔵寺の庚申塔に非常に似ており、1744年作成ということから、年代が近く、同じ人間が作成したものと思われる。ところで庚申伝説とは、年に6回(年によって7回)庚申日があり庚申の夜は人々は徹夜して過ごしたそうです。

徳川吉宗の時代で、平賀源内や杉田玄白が子供の時でした。もとは、8メートルほど、舞岡側にあり、工事のためここに移したそうです。

碑には「これよりぐめうじみち」

「これは中国から来た「三戸(サンシ)説」によるもので、人間の体には3匹の虫が住んでいて、これが庚申の夜、人が眠つた後、体を抜け出し、天に上り天帝にその人の悪いことを告げ口し、人の寿命を縮めるのだそうです。そのため庚申の夜は眠らずに過ごしたといわれています。

妖怪・伝説物語4

第五巻 一つ目小僧の話

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく。古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。今回はその第4回、聞ざされた妖怪・伝説の扉を紐解き、報告していきます。

「みんな知ってた？ 年に一度、下倉田に一つ目小僧が現れる？」むかしの事だ、おらが三つ、四つの頃じゃ、遊びから帰るとな、かちやが土間の脇にざるを立てかけると。

「さるといって今のようなプラスタックや金物でなく、竹で編んだもの」 「かちや、なんでざるたてかけてるんじや？」おらが聞くと、かちやが何食わぬ顔でこう言っ

「今日は12月8日、毎年のやつたんじや。」

とるがの、今日は夜になると、一つ目小僧がやってくるんじやぞ」 「ひっ、ひっ、ひい、ひい、ひとつめ小僧だつて！！！！！！！！！！でもなんでざるなんじや」

かちやが言うにはこういうことらしい。夜に一つ目小僧が家に入ってきて、たいそうな悪さするそうじや。 それでな、ざるを置くと、ざるの穴が目に見え、一つ目小僧にはざるが百や二百の目に見えて、驚いて家に入らず、帰ってしまうそうじや。

でも、おらはかちやに言つた、「人間目が二つあるから、一つ目小僧に勝つのではないんか」かちやは「おめ、ばかだな一つだけ目が多いただけじや、ぜんぜんだめだ」だ。

夜になって、両戸の隙間からまばたきもせず、外をジロとみていたが、なかなか一つ目小僧は来なんだ。 そのうち、まなこが重くなり

いつのまにか寝てしまったんだ。 次の日じだんだ踏んで悔しがった。

豊田村米作りと農具

金子 喜久男

私の家には、畑は野菜、水田は稲作に、それぞれの農具が沢山あります。

作業の中でも、稲刈りや収穫しからの農具が多く、脱穀には、稲やそば、大豆などを乾燥させて、寝かせた穂を棒や枝などで両手で回転させてたく「クルリ棒」といった農具がありました。

同時代の「千歯抜き」といわれるクシの歯を並べた農具は引き抜くように使い、明治時代まで盛んに使われていました。その後、千歯



た記憶があるんじや。なんて寝てしまったんじやと。今も思い出すんじや、一つ目小僧はあの夜きたのじやろうか……うーんそりやわからんな。

今は12月8日にざるを置かなくなつたんじやが、一つ目小僧は毎年来るんじやろうかのう？ (下倉田在住町内会役員のNYさんからの貴重な情報)

エピソード(解説) 一つ目小僧が毎年12月8日に来て、その撃退方法のざるを置く行事は、戸塚周辺で実際あった。

地域によってはみかり婆という老婆の妖怪と一緒にあらわれたり、一つ目小僧単独で現れたりするが、日には決まって12月8日である(事ヨウカとか大寒の日という)

家に入ってわるさをするとか、入った家の人の悪さを記録し、疫病神にいつつけて災難をあたえるともいう。

このへんは、別記事の庚申塔で触れるが、庚申伝説に重なる抜きに変わって普及する

「足踏み脱穀機」は、明治四十二年に備後三次(現 広島県三次市)で作られました。

さらに改良が加えられ、大正五年ごろから全国に広まり、昭和三十年代あたりまで残っていました。が、動力脱穀機が導入されてくるといつか姿を消しました。



とも言える。この伝説は下倉田でうち以外聞かず、非常に不安であったが、数年前に本郷台のいたち川を散歩したとき、一つ目小僧の伝説を書いた立札を見つければ、戸塚周辺で他にもあった伝説とわかつたとき、本郷に心から安心しました。

「いまでも一つ目小僧が多分来てるな」そう思う 吉原 憲孝



「ちりとばし」

三枚の羽根で送風し、籾は真下に落ち来雑物は前に吹き飛ばす「万石籾」(まんごくどうし)

良い籾と悪い籾を選別する 毎年、豊田小学校の課外授業として、我が家の農機具博物館に見学会が行われています。

今後は、豊田小学校の教室が空き次第に百四十点の農機具を寄贈する予定になっています。

「下倉田町内会公式ホームページ」にも、この農機具の写真を掲載する予定です



下倉田町内会館の利用団体紹介

団体正式名称	いちごの会
設立年月	平成元年ころから
会館利用年数	約 25 年
主な活動内容	子育てサークルとして、講師の先生とともに、親子で手遊びや工作、絵本の読み聞かせなどを行っています。
構成員	満 2 歳から 4 歳の子どもとお母さん
メンバー人数	母と子 23 組 (24 年度)
会館利用日	原則として第 2、第 4 火曜日の午前中 (10:00~11:30)
メンバー募集	有・無 (毎年 2 月に体験入会と会員募集を行っています 詳細は、町内会掲示板でお知らせしています)
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	七夕やクリスマス会など、季節を感じられるようなイベントもあります。お母さんと、毎日ずっと一緒にいられるのも幼稚園に入る前まで。そんな貴重な時間をいちごの会で一緒に楽しく過ごしませんか?

団体正式名称	健康体操クラブ《アイ・ビー・アイ》
設立年月	昭和 49 年ころ
会館利用年数	約 22 年
主な活動内容	《健康体操》おだやかな動きと共にストレッチを取り入れた有酸素運動です。年齢に関係なく個々の体力に合わせて出来る適度な動きの健康体操です。
構成員	約 1,200 人 (横浜は約 350 人くらい) 横浜、横須賀、湘南に 140 余りの教室があります。
メンバー人数	下倉田教室 8 名
会館利用日	原則、毎週水曜日の午前中
メンバー募集	有・無
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	年に 1 度横浜文化体育館で横浜全教室の皆様が集まり合同練習と計測を行います。会館が広く、使いやすくなり、現在 8 名ですが、まだまだメンバーが増えても大丈夫です。町内会の方々の見学体験をお待ちしております。(無料体験 2 回まで)

団体正式名称	第一明治会
設立年月	およそ昭和 37 年ころ
会館利用年数	約 50 年
主な活動内容	定例会 (毎月 10 日) 事務連絡、誕生会、軽体操、合唱など 暑気払い (7 月)、長寿会 (9 月)、新年会 (1 月) を定例会と同時実施 地域奉仕 (第 5 公園およびバス停清掃)、健康散歩 クラブ活動 (ゲートボール・ベタンク・カラオケ)
構成員	下倉田町内会会員世帯の 60 歳以上の方
メンバー人数	52 名
会館利用日	毎月 10 日および月 2 回 (火) の午後
メンバー募集	有・無
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	毎月 10 日の午後 1 時から定例会を開催しています。 会員募集をしていますので、興味のある方は是非のぞいて見てください。



いちごの会



健康体操クラブ
《アイ・ビー・アイ》



第一明治会

赤ちゃん教室

「さらさら雑巾さらさら雑巾」お母さんの手で優しく赤ちゃんの体をさする雑巾体操から赤ちゃん教室は始まります。

赤ちゃん教室は下倉田在住の第一子(0歳児)と親・妊婦を対象に、原則第三木曜日の10時から11時半まで下倉田町内会館で行っています。

私たち保健活動推進員は赤ちゃん教室の受付等のお手伝いや見守りをしています。

赤ちゃん教室では担当の保健師さんの他、月により変わりますが、歯科衛生士さん、救命救急士さん、保育士さんがお話を下さったり、相談に乗って下さいます。

初めての子育てで尚且つ、一昔前と違う子育て事情、また、実家が遠く相談する人が近くにいないなど、悩まれているお母さんが多くおられます。

赤ちゃん教室で専門家のアドバイスを聞いて解決策をみつけてもらい、悩みが消えるといいなと思っています。

また、ママ友を見つけるために参加したという方もいます。赤ちゃん教室に参加して意気投合し、ママ同士でサークルを立ち上げて活動している方もいます。

限られた時期ですが、初めての子育てをしているお母さんと赤ちゃんを下倉田地区として見守ってきたいと思っています。

下倉田活動推進員 吉田 昌子



「バス&ハイイク」江の島探検プロジェクト

桶崎 正憲

こんにちは、体育部部長の桶崎です。

体育部は、下倉田町内会の活性化、ふれあいを目標に積極的な挑戦をしていきたいと思っています。ということ、今回のバス&ハイイクの開催を企画しました。

湘南の風を肌感じながら、江の島を探検するイベントです。

新江の島の水族館でのショー&ふれあいプログラムを体感しながら海の動物を観察、ラッキーならばペンギンの行進も見られるよ！

江の島探検では、行列ができるという有名な「とびつちよ」での食事、話のネタに手焼きせんべい

平成 25 年度 町内会主な行事予定	
4月13日(土)...	25年度総会
6月9日(日)...	町内クリーンデー 消防箱取扱訓練 防犯懇談会
7月7日(日)...	納涼夏祭り全体会議 (下倉田少年広場)
7月27日(土)...	納涼夏祭り
9月7日(土)...	八幡神社余興
9月8日(日)...	神輿渡御
9月16日(月)...	敬老祝品届け
10月6日(日)...	ファミリースポーツフェスティバル
10月20日(日)...	地区スポーツレクリエーション
11月10日(日)...	町内クリンデー
11月17日(日)...	豊田中学防災拠点訓練
11月23日(土)...	町内バス&ハイイク
12月5日(木)...	防災懇談会
12月23日(月)...	年末臨時理事会
12月27日(金)...	年末特別激励巡視
1月2日(木)...	町内巡回獅子舞
1月11日(土)...	賀詞交換会
1月25日(土)...	町内会防災訓練
2月9日(日)...	健康ボランティア大会

編集後記

町内会を手伝い四年目を迎えるが、いまだにこんな活動があったのかと知ることも多い。

今号の紹介でも、下倉田交番の勤務、消防団の活動、選挙の投票所の運営や豊田ミニバスクラブの活躍、スポーツフェスティバル開催さらにはケアプラザの講座や赤ちゃん教室、会館の利用団体にもいちごの会や健康体操クラブアイ・ビー・アイ、明治会等々さまざま活動を紹介している。

このような組織の活動により下倉田の安全が保たれ、運動や文化的生活を送れているのだと改めて実感する。

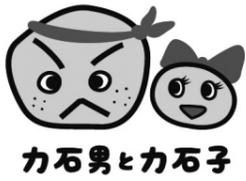
この組織運営は、より多くの人に理解いただき、支援や協力さらには直接参加して楽しみ・活用いただくことを願っている。

町内会でも、このような方々に対する支援にも大いに貢献していきたいと話している。

(中澤 清)

平成 24 年度 下倉田町内会 協賛金協力企業事業所名	
下倉田町内会では町内に事業所を有している企業から御芳志をいただいております。ここに企業名を期して謝意を表します。	
○久保機工(株)	
○コーケン香料(株)	
○横浜 NK ホーム(株)	
○株コムラード	
(もえぎヶアセンター戸塚)	
○BAS F コーティングス(株)	
○トヨタカラー横浜(株)	
○日産プリンス神奈川販売(株)	戸塚下倉田店
○山仁商事(株)	戸塚下倉田店
(会計 金子昌平)	(順不同)

2013 年 11 月
第 37 号



わがまち下倉田

G30 のその先へ
ヨコハマ 3R 夢!

発行責任者：下倉田町内会会長 吉原 鋭一
編集責任者：広報文化部長 中澤 清
TEL 045-864-1940
印刷所：(有)豊田印刷所

下倉田町内会公式ホームページ：http://shimokurata.web.fc2.com/index.html

民生児童委員の活動を振り返り

米山 恵美子

このたび民生児童委員が交代することになりました。退任に当たり、思うことは、町内の皆さんに、お役に立てたかどうか、安心して生活をして頂けるよう少しでもパイプ役になったかどうか、至らないところが沢山あったと思います。でも、みんな一生懸命やらせていただきました。

社協との行事の事、高齢者への食事作り、赤ちゃん教室などです。そして、自分の担当地区の高齢者のお宅へお伺いします。「こんにちは、お元気ですか、お変わりありませんか」下倉田町内会館では、毎月第三水曜日午後一時より『おしゃべりサロン』を開いております。将棋、マージャン、オセロ、折り紙、体操、歌あり、もちろんおしゃべりも自由に、また、第四金曜日のお昼に『ミニデー』を開催しております。

困ったことは自分のこととして考え、みんなで心をひとつに協力してやってほしいと思います。今まで、町内の方々と活動させていただき、皆さんと楽しく有意義な時間を過ごさせていだいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



「明学の地域活動」

明治学院大学ボランティアセンター 波多野洋行

こんにちは。明治学院大学ボランティアセンターの波多野と申します。一九九〇年に学生課へ配属をきつかけに幾度かの人事異動はありましたが、下倉田地区とのお付き合いは二十年以上となります。この間に道路事情が改善され、江ノ電バスが本学南門まで路線開設した際に皆さまからバスターミナルに掲げられた悲願達成の横断幕は記憶に新しいところです。

活動の中には「どうせ登校するから大学までの通学路のごみを拾ってきれいにしよう」という企画で、清掃活動に加えて地域交流を図りたいとの思いから始まった活動です。活動中にねぎらいの言葉をいただくようになり、学生にとって地域がより身近なものとなっております。

さらにこの活動は発展をみて、防犯キャップをかぶりながらの活動（県から自主防犯に対して物品購入費補助）になり、防犯への意識も高まりました。県警の方々も時々参加をしてくださり彼らの励みになっていきます。ほかに倉田小学校へのお手伝いや近隣のお祭り参加等で交流を深めています。今後も地域の課題を共に考え、地域に根ざしたボランティア活動を学生共々展開していきたいと考えております。



蜂の巣騒動記

浦澤 勉

今年の夏は例年になく異常な暑さが続き、雨が降ると豪雨になるなどの極端な天候で、農作物は勿論の事、野山の草木までが厳しい自然に翻弄されました。こんな気候のせいなのか、この夏はスズメバチによる子供たちの被害が全国で聞かれるほど蜂の活動も活発なようで、先日わが町でも大きなスズメバチの巣が発見され、騒動の末の処分と言う一件が有りました。たかが蜂、されど蜂ですので、その顛末をお知らせします。

何よりであったと安堵しております。処理作業の際立会いの我われは、危険を感じ遠くに離れて見守りましたが、蜂の習性では、夜は目が見えない、温度が下がる夜・朝は活動しない、巣と女王蜂を処分すれば帰ってきた蜂も霧散してしまうなどを業者から聞くことが出来参考になりました。

ハチの巣



発端は、近隣にお住まいの方が「近くの空家建屋の二階軒下に大きな蜂の巣があり、蜂が飛び回り子供たちにも危険なので至急処理してほしい」との依頼を行政のしかるべき窓口にしたことが発端でした。ところが、空家の地権者の許可が無いと出来ないとのこと、その後も地権者との連絡が取れないことがあって、何とかしてほしいとの依頼が町内会長に came ました。急ぎ対処することになり、地権者との連絡と区役所との折衝を平行して行うとともに、先ず処理することを最優先に区の窓口に出向き、処分の段取りなどを話し合いました。結局は地権者の承諾が最後まで壁となり行政では無理と判断、以後は町内会としての判断で早急に処理しようとの結論になりました。紹介された処理業者に連絡し、その日の夕刻八時から現場立会いの下、処分作業を行いました。もちろん、処理の費用などの負担は町内会ですが、蜂の危険を取り去ることが出来たことが

豊田中学校部活動 夏の大会のお礼

男子バスケットボール部
部長 久保田 悠斗(三年)

豊田中学校男子バスケット部は、二年連続で関東大会に出場することができました。昨年の夏、先輩たちと交わした全国大会出場約束・・・この目標に向かって僕は努力してきました。しかし、その道は厳しく、時には仲間とぶつかり合い、悩んだり不安な気持ちで試合に臨む日も少なくありませんでした。そうしたときには、仲間同士で気持ちを確かめ合ひ、先生ともたくさん話をしました。そして、徐々にチームの意識は全国大会へ向けて、一つになっていきました。関東大会では、決勝戦で栃木県の鹿沼西中学校と対戦しまし

下倉田交番に勤務して

戸塚警察署 久保田智之

こんにちは、戸塚警察署下倉田交番に勤務しております、久保田智之と申します。まずは、自己紹介をさせて頂きます。生まれも育ちも横浜で、生粋の「ハマっ子」です。特技は高校からはじめた柔道です。大学時代は全日本学生選手権にも出場しました。さて、私が下倉田交番に勤務して早、6ヶ月もの時間が経ちました。下倉田町は地域住民の方々、自治会等の組織の結束が非常に強く、我々警察に対して積極的に協力していただいているという印象があります。治安面では、戸塚区他の地区に比べ比較的安地帯地域だと感じています。しかし、現在全国的に「振り込め詐欺」が増加傾向にあります。主な手口は、直接現金を手渡しで受け取りに来る「手交型」

たが、延長戦の末、悔しいことに負けてしまいました。目標であった全国大会へは出場できず、二年半の全ての力がこめられた試合を終え悔しいです。地域の皆様にもたくさん応援していただき、僕たちが安心して部活動ができる環境を作っていただきました。僕らに携わってくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。応援してくださった皆様、本当にありがとうございます。

（県大会準優勝 関東大会出場）



となつています。

また、あくまで一例に過ぎませんが、電話の内容はご自分のご家族の名前を名乗り、「会社社」の重要な書類の入った鞆を紛失した」という内容が多いです。こういった電話が架かってきたら、「私の名前を言ってみなさい。」と、ご自分の名前を聞いてみてください。ご家族であったら、正しい名前を答えてくれるはず。正しい名前であっても油断せず、ご自身からご家族に連絡を取ってご確認ください。

このような電話が架かってきた際は、警察までご一報ください。なお、警察官の振りをしてお金を騙し取るケースが発生しています。警察官がお金を請求することは絶対にありません。現在犯人を捕らえるため、皆様にご協力頂いて「だまされた振り作戦」をご依頼する場合がありますので、ご協力よろしくお願ひします。

器械体操部(男子) 部長 川越 洸(三年)

僕たち器械体操部は、毎日一生懸命練習しています。練習内容は、器具練習だけでなく、筋力トレーニングや柔軟、ストレッチなどもしています。器械体操という競技は、空中で回転したりひねったり、両腕の力だけで体を支えたり、足を百八十度開いたりするので、筋力や柔軟性が無いとけがをしやすいです。ですから日々の筋トレや柔軟は欠かせません。また、気を抜いて練習すると大げさもつながるので、みんなで声を掛け合って練習しています。

毎日一生懸命練習したので、今年も男子が関東大会に出場することができました。僕たちが関東大会に出場できたのは僕たちの力だけではなく、指導してくださった先生や応援してくださった親や地域の皆様のおかげと本当に感謝しています。地域の皆様、応援ありがとうございます。

（県大会二位 関東大会出場）



*豊田中学校では、この他に水泳部が全国大会・関東大会に出場、新体操個人で関東大会に出場しました。また、野球部やソフトテニス部、陸上部をはじめ、多くの部活動が県大会に進出し、ご声援ありがとうございます。（豊田中学校校長 村本淳一）

座談会 音を振り返って

出席者：

明治会の七十四歳から八十九歳（昔の男の子一名、女の子五名）全員が第二次大戦の始まる前に生まれた方々。ご希望により出席者を匿名としました

〈戦時中の思い出〉

兵隊検査が十八のとき。甲種合格だった。航空隊に配属になった。昭和十六年の第二次大戦開戦の翌年シンガポールが陥落したとき、ちようちん行列をしたのを覚えているわ。空襲もあって大船に防空壕を掘った。私なんか東芝に行っていたから狙われてね。武蔵小杉のほうに逃げました。

私は、上倉田の表から入った出征兵士の家に、草むしりに行かされたことがあるわ。戦時中は、英語は使っちゃいけないとか「蛍の光」は歌えなかった。戦後は、歴史と地理も勉強しちやだめ、教科書は新聞紙を畳んだような物だったし、謄写版の印刷物だった。

〈食べ物が無かった〉

戦後は食べ物が無くて、ザリガニを食べたの。エッてんぷらにしたら美味いかって？そんな贅沢はいえないの。かごいっばいに捕まえたザリガニをただうでるだけ。

私なんかカエルも食べたわよ、萬松寺の池の。ああそれ食用蛙ね。食用蛙はウサギの肉と同じように美味いんだ。そういえばよく萬松寺の池に四センチぐらいのゼリー状のチューブになった大きな卵が浮いてたわね。赤蛙も美味かった、あれの腿は鶏肉のような味だ。

わしはよく蛇を食べたよ。青大将は青くさくさってまじいけどマムシのほうがうまいんだ。（へー、知りませんでした）一度に三匹とったことがあるんだよ。マムシの皮をむいて横浜に持っていくと良い値で売れたんだ。

小学校は給食で、中学では弁当だった。給食はまずかったわ。ミルクは脱脂粉乳でコップペパンは茶色くてね。

〈昔の遊びいろいろ〉

めんこ、石蹴り、ケンケン、ビー玉、おはじき、まりつき、羽根突き、自転車のチューブでゴムとび、すこし大きくなってからおいちよかぶなどをよくやっていた。

小学校の低学年の時に、子供の自転車が無かったので大人の自転車で三角乗りをしたわよ。誰が一番先に乗れるかを楽しんだりした。今の子にできるかなあ。そういえば萬松寺の池に落っこつたこともあったわ。

遊びといえば、正月二日には南谷戸の今のブロード入り口あたりでサイト焼きをやったね。門松を置いてお習字の紙も焼くのよ。燃えカスが高く上がる字がうまくなるってね。遊びというより、仕事として小学校に入らばかりのころに、カイボリをやらされたよ。

順番に並んで萬松寺の池からバケツで苗代に水出しをするの。水が漏れないように土手のアナをふさいでね。苦勞してカイブツた水が漏れちゃったら悔しいです。

小学校の三年ごろによく芝居を見に金井や上倉田だのに出かけたわね。お宮の階段作った時に歌舞伎やったことがあるよ。そういえばハックの元の場所の野村の益田グラウンドでボクシングをやったね。プロレスが来たこともあった。

〈懐かしいこと〉

鎌倉の八幡様や横浜の伊勢佐木町まで砂利道をよく歩いて行つた。少し八幡様へのほうが近く。一時間ちよつとでいたよ。三つ葉やセリを池で洗って束ねて六十パ作ったとか百パ作ったとかで、より高く売れるところを捜して鎌倉や藤沢の市場に持っていった。

当時は木炭車が走っていたよ。ガソリンが無くて薪でバスの後ろにタンクのようなのをつけたボンネットバスが走っていたの。大きな坂（大坂上）を上がるのは大変で、原宿から来た人がみんな降りて押したんだって。女の車掌さんも乗ってていてね、停留所でもなくとも手を上げると止まってくれたんだよ。（のどかな時代だったんですね）

〈いたづら〉

いたづら？ ああやった事があるよ。戦後（二十三歳ごろ）大わらじのそばに墓があるだろ。夜になるとあそこで白いシャツを脱いで衣紋掛けに掛けてそれを竹ざおにぶら下げて、夜中に町から帰ってくる女の人を驚かすんだ。みんなキヤーといって逃げていくんだ。それが面白くてよくいたづらをしたもんだよ。えっそばに交番があるだろうって？昔はあそこに交番は無かったよ。その後、話が弾み、どこどこ〇〇はよ、△△△でさ、・・・と固有名詞がいくつか出ましたが、下倉田の平和を望んでカットすることにしました。

（文責：中澤）



下倉田町内会 2013 納涼夏祭り大会

今年の夏祭りの舞台は手作りで、幸が丘の役員に協力頂き、みんなで作業を分担して完成しました。初めて取り入れたスイカ割り、子ども会のバトントワラーやダンス、豊田中学校のブラスバンド部の演奏でにぎやかな夏まつりとなりました。



下倉田八幡神社 宵宮 2013年9月7日(土)



全て町内の手作りの売店や、抽選会・久木田氏の書道ライブ・歌やダンスや踊りのイベントがあり、大勢の人が楽しみました。



下倉田八幡神社御輿渡御 2013年9月8日(日)



昨年同様AB2コースに別れ昼過ぎ一斉に宮入しました



健康ボーリング大会開催準備中！！

来年2月9日に予定をしている「健康ボーリング大会」は、今回で6回を迎えます。

気軽に、家族でも楽しめるスポーツとして、根強い人気です。下倉田町内会では、特に会員の交流や健康づくりを目的に、老若男女、家族連れでの参加に期待をしています。

ホームページ検索が出来る方々は是非、「下倉田町内会公式ホームページ」で検索をいただきたいと思ひます。昨年開催された大会の様子をご覧いただくことが出来ます。12月初旬の定期回覧でご案内します。

町内会では、「健康づくり・会員交流」を目的に、バス&ハイク「散策&体験ツアー」(11月23日(土祝))、「ファミリースポーツフェスティバル」(11月30日(土))なども計画をしております。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

妖怪・伝説物語5

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく。古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。今回はその第五回、閉ざされた妖怪・伝説の扉を紐解き、報告していきます。

影取池の大蛇

むかしの事だ、藤沢宿の外れに偉いお金持ちがすんでいた。沢山の土蔵のひとつに、一匹の大蛇が住み着いていた。大旦那は「蛇は水神様のつかいじや」と、おはんも名づけて、酒や米をあえて、大事に育てていたそう。

おはんは家の為にならないと、蔵を抜け出してあてもなく戸塚宿

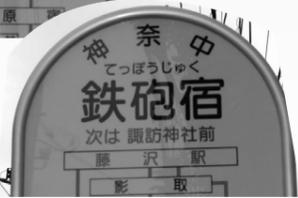
のほうへ向かった。そこに住みついたら、今までと違い、自分でえさをさがさなければならぬ。おはんは、もうさがす気がささなく、じっと池の底にうずくまっていた。そんなある日、池のおもてに通りかかった村人の影が水面に映った。

おはんは、おもわずその人影をのんだ。すると、不思議なことに米や酒を飲みこんだような感じになるのだった。

「おおありがたうこれいきながらおはんは、池に映った人影をのんでくらししていた。ところが村では「あの池の影をのんだら、おはんは、池の主の大蛇に影をのまれた、いく日もたたぬうちに死んでしまうぞ」という噂が広まった。そうしたとき、原宿の宿に江戸の鉄砲名人が泊まっていた。村人は名人に大蛇退治をたのんだ。名人は、蛇の名前がおはんというのをうわさで聞いていた。池に近づくと影をのまれてしまったため、遠くから池に向かい、名前をよんでみることにした。おはんは、池の外から名前を呼ぶ声をきいた。

「旦那様の声ではねえ、でも旦那様の家の人もしれねえ」そう思い池の外にてみた。

おはんは、池の外から名前を呼ぶ声をきいた。おはんは、池の外から名前を呼ぶ声をきいた。おはんは、池の外から名前を呼ぶ声をきいた。



下倉田町内会 庶務部長
吉原 憲孝 (文とイラスト)

弾丸は、おはんに命中し、池は、血でまっかきになった。おはんは、それから大蛇がすんでいた池を影取の池、村の名前を影取村、鉄砲を打ったところを鉄砲宿というそう。今も残っている地名やバス停名に隠された悲しいお話です。

青パト防犯活動感想記

防犯指導員 磯村常介

一件の交通事故の陰には、百の「ヒヤリハット」があると、日ごろ誰もが体験することでしょう。このようなことは、他の事故、犯罪にも同じことが言えると思います。

戸塚警察署管内 全十九地区では、別表のようにかなりの犯罪が発生しています。

我が下倉田地区においては、他地区との単純比較はできませんが横ばい傾向になっております。

「安心・安全で誰もが住みやすい町」作りには、一層の防犯活動が重要と考えます。

私たちが防犯指導員は、その活動の一環として、青色パトカーによる地区内全域の巡回を毎月一回程度実施しています。巡回中には普段気付かないようなこ

とが目にとります。

たとえば、庭木などの刈り込みが不十分で、不審者が身を隠す場所を提供している。みきした軒下に脚立・はしごがすぐ使える状態でおいてある、等々。地域を見直す、より多くの「目」が必要ではないかと思えます。青パト活動へのご理解のため、一人でも多くの方に同乗していただき、地域の防犯意識力向上にご助力いただければ幸いです。

なお、青パトの詳細については、下倉田町内会公式ホームページ（二十五年二月十七日）をご覧ください。



寺の縁起と文化財

真宗大谷派（東本願寺）龍臥山 祥瑞院永勝寺 住職 田口壽人

永勝寺は、下倉田のほぼ中心に在る寺で、元は天台宗の寺でした。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人が鎌倉時代幕府の命により、一切経校合（文字の誤りを正す）の為、鎌倉に招かれた際に、鎌倉への近道に当寺の大門があり立寄られたのが、縁で、数年の往来時に度々逗留いただき、その縁にて時の住職が、親鸞聖人のお念仏の教えに帰依され念仏道場長延寺となりまし。親鸞聖人のお念仏の教えは、鎌倉に多くの念仏道場が開かれましたが、鎌倉幕府や時の権力者により何度か弾圧を受け、後に鎌倉郡内の真宗寺院は全て鎌倉から出されました。長延寺も戦国の頃、北条氏に

より焼き討ちにあい、甲斐の武田氏を頼り疎開を致しました。甲斐では、信玄公の側に仕え他国への外交使節長延寺として仕え、甲斐に大伽藍の甲州長延寺を建立しました。

しかし、武田氏滅亡後、徳川家康に見いだされた大久保石見守のよこしまな計略に巻き込まれ、武田家再興の企ての疑いで時の住職は追放となり、後、寺号を永勝寺と改め倉田に戻り現在に至っているとの事です。当寺には、本堂の他に面掛阿彌如来堂があり、堂内には面掛阿彌如来と聖徳太子像が安置されています。

面掛阿彌如来とは、昔如来堂の前を馬で通ると落馬する人が多く村人が困っていると、どこからか僧侶が来て、この面を掛けよといわれ掛けた処、事故が無くなったことにより、阿彌陀如来は、一木造り高さ百

下倉田地区犯罪認知件数の推移 (抜粋)

年	戸塚署内総件数	下倉田地区					
		総件数	空き巣	振り込めサギ	自転車オートバイ盗	車上ねらい	ひったくり
H20	2510	102	6	0	38	8	0
H21	2134	85	2	0	40	8	1
H22	2575	123	3	0	32	2	0
H23	2442	95	0	1	38	8	1
H24	2319	72	2	3	29	6	0
H25 (1~8月)	1422	47	—	—	—	—	—

三十六、五センチ鎌倉後期の大変素朴な造り、お面は修復し他に保管しています。

聖徳太子像(県重要文化財)は、太子が十六歳の時、父、用明天皇がご病気の為日夜看病された孝養太子像で、寄木造り、高さ百二十六、七センチ玉眼入り柔らかな相、胎内に像高三センチの太子二歳の南無太子が納められていました。現在別に保管しています。

他に親鸞聖人が北条泰時より贈られた木枕、聖人自ら御供用のため掘られた井戸(保命水)等々があります。

境内には、大銀杏、大犬槇、多羅葉、無患子、小賀玉等古木が有り緑に囲まれています。寺で、毎月二十八日午後二時(三時迄、正信傷(親鸞作)のお勤め練習と内容のお話をさせていただきます。どなたでも無料で参加いただけますので是非お運びください。お待ちしております。

「事業拠点」シリーズ③

「医療・病院」

少子高齢化が叫ばれて久しいが、今回は「医療・病院」に関する下倉田町内の状況を見てみたいと思えます。

昔は、身近な場所に、掛かりつけの医院(街医者)があり、風邪・腹痛から怪我など、ちょっとしたことでも出かけて行って診察してもらったり、自宅に来てもらったりと、すべてお任せの力強い味方がいました。

現在はどうかでしょうか？医療設備の充実・進歩、病いの多様化、昔とはだいぶ状況は変わってきているように思えます。それでも、近くに自分にとっての安心できる病院や医療施設があれば、いざと言うときの大事な助っ人です。



皆さんにもきつと身近な助っ人がおられるに違いないと思えます。

下倉田には、山川医院、下倉田ハートクリニック、鈴木歯科医院、八巻歯科医院、フォレスト歯科医院、メディカ薬局、すずらん薬局などがあり、気がかりなことがあればすぐに出かけて見てもらうようにしたいものです。

また、病気ではないが、健康な体の維持を促進したり、怪我の手当てなどの医療施設では、くらの接骨院・田中治療室、ツユキ接骨院、オリーブの樹などが開業しています。

そして家族の間でもあるペットの病気には、ぬのかわ犬猫病院も忘れていけません。

下倉田町内会も高齢化が進み、病院通いの方々が増えてきているとは思いますが、明るく、楽しく、元気に過ごしたいものです。

次号では「住まい」に関する観点でご紹介をしてみたいと思えます。(樋口賢一郎)

下倉田百景



永勝寺 「名木古木指定 イヌマキ 横浜市」

平成25年度下期 町内会主な行事予定

- 11月10日(日)：町内クリーンデイ
- 11月17日(日)：豊田中学防災拠点訓練
- 11月23日(土)：町内バス&ハイク
- 11月30日(土)：ファミリースポーツフェスティバル
- 12月5日(木)：防災懇談会
- 12月23日(月)：年末臨時理事会
- 12月27日(金)：消防団特別警戒激励
- 1月2日(木)：町内巡回獅子舞
- 1月11日(土)：賀詞交換会
- 1月25日(土)：町内会防災訓練
- 2月9日(日)：健康ポリング大会

編集後記

今回の蜂の巣騒動(一面)には、改めて行政の限界と町内会の役割について考えさせられた。

空き家のため個人情報保護法が壁になり、行政側でスマホパチの策に対処することができなかった。結局、町内会の責任と負担で解決した。

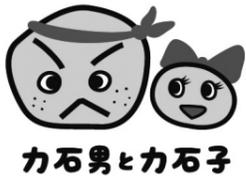
また、町内会に迷い猫の相談があったことがある。殺処分することをかんがえると可愛い猫を保健所の手ゆだねるのも気が引けて、持ち込まれたものだ。結局、この猫は飼い主が見つかったそう。

手続きを踏まないで洗濯機をゴミ置き場に置かれたことがある。当然回収されないで放置されていたが、見かねて自宅に持ち帰った町内会役員がいる。

電動金鋸で分解して、回収してもらったそう。このように、行政では対処できないことに対して、住民の間に入り込める限りの緩衝役を務めることも町内会の大切な役割であるかと再認識させられた。

もちろん住民の皆様の協力を得ながら (中澤 清)

2014 年 5 月
第 38 号



わがまち下倉田

下倉田町内会公式ホームページ : <http://shimokurata.web.fc2.com/index.html>

スリム G30 のその先へ
ヨコハマ3R夢!

発行責任者：下倉田町内会会長 吉原 鋭一
編集責任者：広報文化部長 中澤 清
TEL 045-864-1940
印刷所：(有)豊田印刷所

道草

前豊田小学校
校長 増田 清美



若い時分、私が小学校の教師になりたいと決めたのは、「自分の小学校時代が楽しかったから、あの頃に戻りたい」という気持ちが多分にあったからだと思いません。

藤沢で過ごした小学生時代。四十分ほどの通学路を、六年間一日も休まずに通いました。住まいである電電公社の住宅の敷地を抜けるとだらだらと長い松林に入ります。そして、広々とした田んぼを左手に見ながら雑木林の中を抜けて歩き、最後に民家の間を通り、国道一号線を渡って学校に着きました。母校の明治小学校には、豊田小学校のものど酷似している二宮金次郎の石像があり、不思議な縁を感じています。

下倉田全体の連携を目指して

下倉田町内会 会長 吉原 鋭一

町内会は、安全・安心・誰もが住みやすい下倉田町を目指して、会員の皆様の協力をいただきながら、日々活動をしています。防犯やゴミパトロール隊を通して、町内の美化・安全に努力しています。役員一同は、今年度は更に、各行事や活動を会員の皆様方にもとより近隣の自治会・小学校・中学校・明治学院大学などと、各行事をコラボしていきたいと考えております。

町内の各種団体とも連携をより深め、地域のために共に力を合わせて災害などに対して自助・共助していきます。そのためにも町内の皆様一人ひとりの方に町内会活動に関心を持っていただき、各種イベントに参加いただけることを願っています。町内会館は、改築が終わり耐震補強やプロジェクト等の映像設備も整い、皆様方に利用していただくべく広く開放しています。

毎日、道草をして帰りました。レンゲソウやシロツメクサで花冠を作ったり、麦畑で麦笛をつくりプープー鳴らしたりしながら帰りました。(これは後で叱られました)田んぼのあぜ道を歩き、ザリガニ釣りもしました。田んぼに落ちこちて泥だらけになり、大笑いをしたことも覚えていません。大きなお屋敷の徐々に高くなっていく石垣をどこまで登って跳び下りることができたか、男の子と勇気だめしもしました。土の団子をできるだけ固く作って砂山に生め、次の日の帰りに掘り出す遊びもしました。瓶に秘密の手紙を入れて埋めたりもしました。藤の木に青い蛇が二匹巻きついていて、きゃあきゃあ言いながら逃げ帰り、しばらくその道を通らなかつたこともありました。いつも友達と一緒に帰りました。学校も楽しかったですが、四季折々の道草で色々なことを探求し成長した子供時代でした。

子ども達を取り巻く人々が、みんな知恵を出し合い協力して子ども達を守っていかねばならない時代になり、「寄り道しない」で、安全に帰りましょう」と子どもたちに厳しく指導しなければならぬ社会的状況になりました。のどかに道草を食った帰ったあの頃のような社会にはもう戻せないのだろうか・・・と思ったりもします。人生には様々な歩き方があるので、私は、子ども時代の帰り道のように「たくさん道草をくって」歩いてきたように思います。様々なものに興味を持ち、こだわって深入りしてみたり感激したり、予想もしない出来事の中に様々な人との出会いがあり、感動がありました。それらの経験が自分自身を育ててくれました。

今、豊田のまちは私のふるさとなりました。お世話になりました。そして、これからもよろしくお願いたします。



下倉田交番に勤務して

地域第二課 佐藤 直道
こんにちは、戸塚警察署下倉田交番に勤務しています佐藤直道と申します。

私が、昨年十月に下倉田交番に配置となり六ヶ月が経ちました。まずは、自己紹介をさせていただきます。生まれは東北の宮城県で、栗原市という山あいの街で育ちました。栗原市は毎年大雪に見舞われますが、その反面、春になると自然の豊かさが目に染みるとてもいい街です。

特技は小学校の時から始めたバスケットボールです。高校時代は毎日仲間と共にバスケットボールを追いかけました。バスケットボールで培った気力、体力で下倉田の治安を担う警察官として頑張っています。下倉田町は、地域住民の方々、自治会等の組織の結束が非常に強く、我々警察に対して積極的に協力していただいているという印象が強く、それ故、治安面でも戸塚区の他の地区に比べ事件、事故の発生が少ない地域だと感じています。現在戸塚区を含め、全国的に「振り込め詐欺」が増加傾向にある

新任役員紹介

本年度、新任の町内会役員を紹介いたします。(9名)
監事 小倉良友(前6班・班長)
1B班・班長 小池良文
3班・班長 河野和子
6班・班長 吉原光治
7班・班長 山村和子
9班・班長 池田 浩
11班・班長 吉田秀夫
12班・班長 5月に決定
13班・班長 尾寄章夫

り、手口も複雑かつ巧妙なものになっていきます。その主な手口としては、電話を使用した従来の「風邪を引いてしまつて声が変つた」また直接現金を手渡しで受け取りに来る「手交型」が多くなっています。こういった電話が架かつてきたら、「私の名前を言ってみなさい」などと、ご自分の名前を聞いてみてもいいと思います。ご家族であれば正しい名前を答えてくれるはずですが、また、正しい名前であっても、油断せず自身からご家族に連絡を取ってみてください。このような電話が架かつてきた際は、警察まで連絡してください。最後に戸塚警察からご協力をお願いいたします。現在、振り込め詐欺の犯人を捕まえるため、皆さんにご協力頂いて「騙されたふり作戦」を実施しています。また、警察官が各世帯を訪問し、直接皆さんのご意見やご要望をお聞きしたり、地域の交通安全や犯罪の発生状況をお知らせする巡回連絡活動を実施しています。皆さんのご協力をお願いします。

民生委員が変わります

全員新しくなった民生委員に
初心を伺いました。
〔民生・児童委員になつての心
構え〕

(Aさん)「民生委員になる前は勤務のためにほとんど地域にいなかったのですが、このたびは興味と愛情を持って地域とそこに住む人を見直していきたい」
(Bさん)「今まで地元で生活をしていただけ、この際に新しい目で見直したい」と考えている」

「心やさしく親切に」…自己犠牲的でないとやっていけないだろうと考えているので、奉仕の心を自分の中に見つけたり、自分を奮い立たせるように努力していきたい。

〔民生・児童委員になつてよかったこと、期待すること〕

町内のいろいろな方と改めて出会い、親しく話すことができ、今まで知らなかった施設(ケアプラザなど)を利用することができた。

特に新民生委員の下倉田チム五人が仲間として仲良くなれた。今後ともにこの体制を継続していきたい。

〔こんなことがあると困る〕

(民生委員は一人が五十軒の年寄りを担当するが、一人暮らしの高齢者の方を訪問するときに、もしも止まらなくなつたら…とか、動けない重篤な病気になつていたらとか考えると不安になる。新しい民生委員を受け入れて笑顔で話してくれるようになるまでは時間がかかると聞いている。

(こ)で不満もちよつぱり…
「民生委員になると、自動的に社協の一員となりボランティア

活動に参加することになるとは聞いてなかった。会費も払うのよ!」

〔関連組織とのコラボ〕

今日も、消防団と災害時の避難誘導の連携について相談をした。下倉田のいろいろな組織と連携していきたい。

民生児童委員が仲介して、子供と高齢者のつながりを作るための企画づくりを進めて行きたい。先日も、倉田小の六年生がミニデーに参加して歌の発表などで協力してもらった。高齢者とのふれあいを子供のときから体験することによって意識を変えていけると思う。

〔楽しく民生委員を続けるために〕
「民生委員の交流のためにみんな飲みに行こう!」

先月、就任したばかりの新民生委員に取材を申し込んだときは、その重圧から不安だらけといった新メンバーであったが、たった一月の間にすっかり前向きでやる気満々といった雰囲気になりました。

新しいメンバーで生き生きと独自の民生委員活動を継続いただくことを期待いたします。



下倉田屋号地図が見つかる

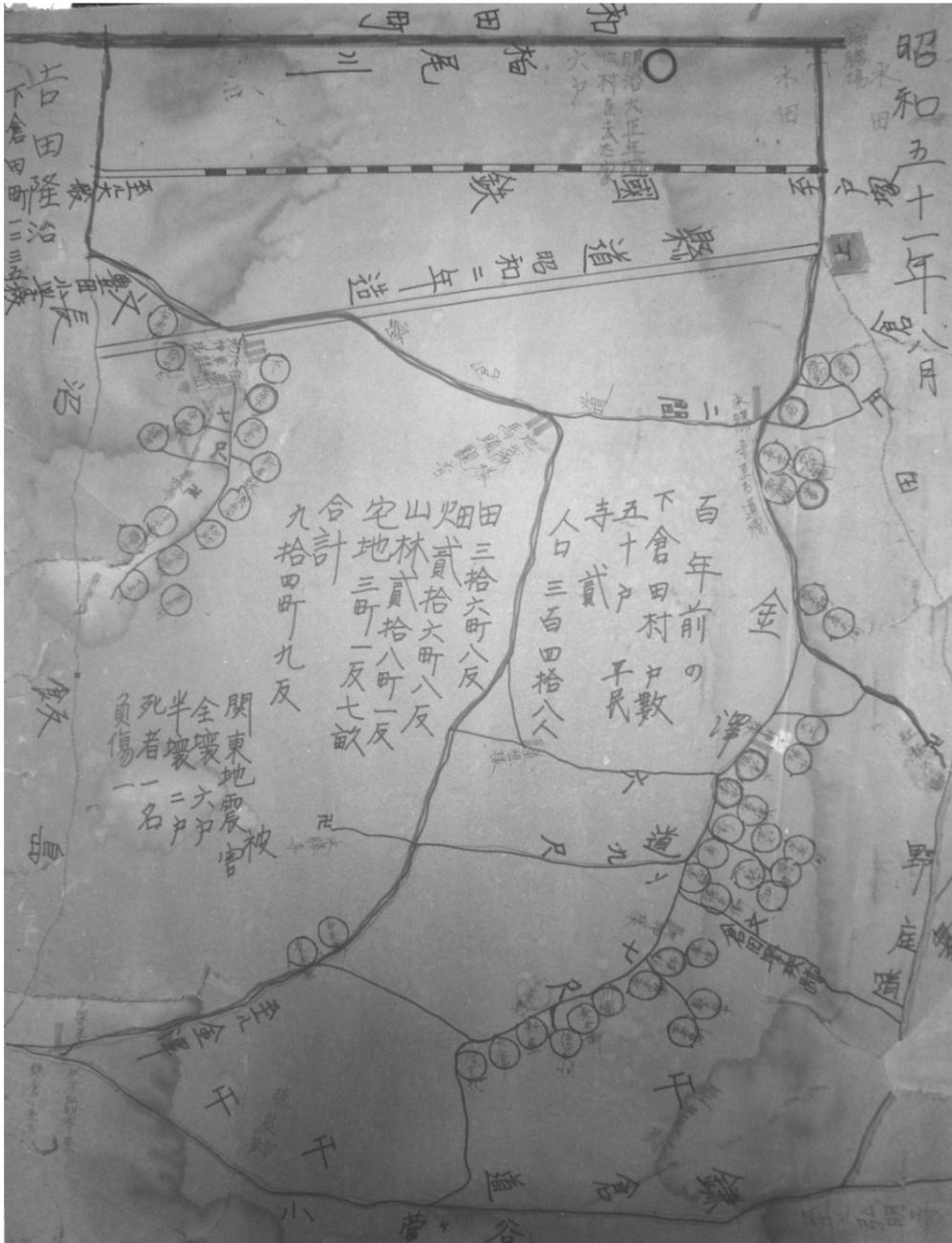
下倉田の旧家吉田勝江さんの蔵から屋号地図が見つかりました。

この地図は、勝江さんの義父吉田隆治さんが昭和五十一年に百年前の下倉田を屋号で地図に記したものです。(1876年ごろの地図)

大変大きな地図(たて百四十cm、横百cm)で、裏打ちして特製の額に入っています。

現在の下倉田町全域が入っており、当時の下倉田村の状況が以下のように記入されています。

下倉田村戸数：五十戸、
人口：三百四十八人、
田：三十六町八反、



親子でお囃子

下倉田のお囃子に新人が加わりました。

吉原俊一君(29歳)は、父と祖父のお囃子の横笛を見て育ちました。お囃子に加わった理由を尋ねますと、小さい頃から祖父と父の横笛を見て育ち、憧れがあつて自分でもやってみたくて思っていたそうです。

笛や太鼓の練習には楽譜がなく、専用の文句(節)があり、それを音に出していくのだそうです。

ト ヒュウー
ヒヤラ ヒヤラ ヒヤラー…



お父さん(吉原芳雄氏)の話では、昔は師匠から手取り足取り教えてもらったそうですが、俊君は親の笛を聞いて後はビデオを見て身につけてしまったそうです。

まずは横笛をマスターして、そのうち太鼓や踊り(舞い)もやってみたくて笑顔で語りました。

平成25年度下倉田町内会 協賛金協力企業事業所名

下倉田町内会では町内に事業所を有している企業から御芳志をいただいております。ここに企業名を期して謝意を表します。

- 久保機工(株)
- コーケン香料(株)
- 横浜NKホーム(株)
- (株)コムラード
- (もえぎケアセンター)戸塚
- BAS F コーディングス(株)
- トヨタカラーラ横浜(株)
- 日産プリンス神奈川販売(株)
- 山仁商事(株)

(順不同)
(会計)金子昌平



横浜ライセンス 「資機材取扱いリーダー講習会」受講於て！ 防犯防災部長 中村芳幸

平成二十六年二月二日（日）第十五回「生活・救助資機材取扱いリーダー講習会」を吉原範夫副会長と二人で受講しました。泉区和泉町の中和田小学校校庭にて、午前八時半から受付が開かれ、小雨混じりの鼻水も凍る寒い中で、実技訓練が行われました。

午前九時に、受講生は二列縦隊で A、B、C の三班に分かれ整列し、指導者は二列横隊に並び、寒さと緊張感の中で開会式の訓示が始まり、指導員の自己紹介と A、B、C の各班のリーダーの紹介が行われました。

我々 C 班は、午前中は避難生活に必要な資機材について以下のプログラムでスタートしました。
①ろ水機

②仮設トイレの組み立てと収納

・シクレット A 型（和式）
・シクレット W 型（洋式）
・ヘンクイック H2（車椅子対応型）
・ベンクイック S（和式）
・YH RI の五種類。

③移動式炊飯器の取扱実施
④災害用地下給水タンク応急給水栓の取扱実施

寒さで手がかじかむ中で、水を扱う作業です。最初は思うように指が動きませんでした。行っていくうちに徐々に血行が良くなり皆さんもスムーズに動作ができるようになり無事に完了いたしました。

その後、午前中の作業も終了し、お昼となりました。範夫副会長と暖かいファミレスにランチに出かけました。暖を取りながら、鼻水にまみれた顔が昂揚してくるのを感じつつ、カツ丼を食べながら一人「幸福だな」と話しました。

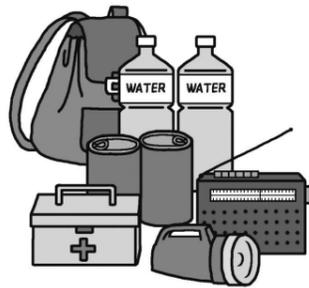
午後には、救助・救護に必要な「救助資機材取扱」の説明と実施で、①エンジンカッター②レスキュージャッキ③発電機④投光機⑤簡易担架⑥工具類の六種類の取扱説明と実施を行いました。

四時過ぎに全過程を終了し、「横浜市総務局危機管理室危機管理課」より、横浜市長印の入った「資機材取扱いリーダーのライセンス」が交付されました。普段は酒下戸の私も、帰り際に皆さんと一緒に飲んだビールに思わず「美味い！」と口走りました。

最後に、今回取り扱った「資機材」は、横浜市各地区の「横浜市防災備蓄庫」に保管されています。

今回の講習会は、「資機材の取扱注意点と取扱の説明と実技」を行うリーダーの育成です。災害時に備え、一人でも多くの方が受講されることを希望いたします。全ての作業は五、六名のチームワークと意思の疎通によって興味深く進められます。人命救助の一環として「生活・救助資機材取扱いリーダー」を受講しライセンスを取得され、私達と共にがんばりましょう。

最後に、今回取り扱った「資機材」は、横浜市各地区の「横浜市防災備蓄庫」に保管されています。



それから、その俺は「まさかりが淵」と呼ばれ恐れられたそう。今もこの俺は戸塚区汲沢町のまさかりが淵市民の森に豊富な水をどうとたたえています。

まさかりが淵について足柄山に行ってみようと思う
下倉田町内会庶務部長 吉原 憲孝

妖怪・伝説物語 6

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく

古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。

今回はその第6回、閉ざされた妖怪・伝説の扉を紐解き、報告していきます。

俺壺の中から、美しい女性がこちらを見ている？

昔、戸塚宿の汲沢村に（今の汲沢町）彦八という働き者の木こりがいたそう。

ある日彦八は山に入って木を切っていたが、手を滑らせ、まさかりを崖下の俺壺に落としてしまったんだ。



親父から、もらった大事なまさかりだけに、たいそう驚いたそう。

彦八は俺壺のそこを見ると、なんと、美しいおなごがはたを織っていたそう。

「おらの落とした、まさかりしらねが？」と聞くと、「あのまさかりはあなたの物でしたか、かえしてほしければ、目をつぶってください」

彦八は目をつぶり「さあ目をあけてください」と言われ見るとそこはまばゆいばかりの御殿だったんだ。

町内防災訓練を実施しました

2014年1月25日（土）午前 永勝寺門前少年広場

〔訓練内容〕

- ・ 烈震体験：震度7の体験
- ・ 炊き出し訓練：豚汁サービス
- ・ 煙体験
- ・ 子供消防服とウナシー撮影会



ご家族・お友達と楽しくすごして防災意識を高めましょう！〔次回：26年10月25日（土）〕

下倉田百景

下倉田の堅牢地神を訪ねて

役員で下倉田の石史跡を巡りました。堅牢地神が、大わらじ、錦邸敷地、すみれ幼稚園前の三箇所にあります。万物を支えて堅牢であるところから「地神塔」とか「堅牢地神」といわれ、大地をつかさどる神です。

大塚民俗学会編の『日本民俗事典』によると、西日本ではジガミ・ジヌシサマ(地主様)中部日本から関東にかけてはチジン・ジシン(地神)・ジノカミ(地の神)と呼びます。

また、歳時記によると、地神講(じじんこう)は、春分と秋分にも近い戊(つちのえ)の日を社日(しゃにち)といい、この日に大地を守護(しゅご)する土地の神様を祭る地神講が行われます。

春の地神講は作物の育成を祈り、秋の地神講は収穫のお礼詣りをするものです。



おおわらじ



すみれ幼稚園前
下倉田の堅牢地神



錦邸敷地



延命地蔵の馬頭観世音



永勝寺への道標



わらじの御嶽山神社

地神講は、床の間に堅牢地神(けんろうじしん)(地天)と弁財天(べんざいてん)(弁天)の掛け軸をかけ、煮しめと白飯を供えてお祭りをしました。

この日は、土地を掘り起こしてはいけなさとされており、農家にとつては休日となりました。

この日の夜は持ち回りの家を宿として、地神講の集まりがあり、酒宴(しゅえん)が催され、無尽(むじん)が行われていたそうです。

今では参加する家は年々減っているようです。

下倉田町内会館の利用団体紹介

団体正式名称	JA女性部 下倉田支部
設立年月	昭和44年ごろ
会館利用年数	約40年
主な活動内容	農協が行う事業の伝達、協力、参加依頼のため、月1回会員相互の親睦を兼ね定例会を行っています
構成員	JA横浜管内 約4,500人 豊田支店管内 146人
メンバー人数	下倉田支部 25名
会館利用日	毎月12日(変則あり)
メンバー募集	有・無
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	・部員の教養を高める活動や各種講座開催JA豊田支店の農業まつりの手伝いメンバーを募集しております 農協事業に理解があり、女性部の活動に賛同される方で下倉田にお住まいの方

団体正式名称	KSリズム体操倶楽部
設立年月	昭和58(1982)年
会館利用年数	約2年
主な活動内容	ロコモ体操、リズム体操、年2回ハイキングを行っています
構成員	女性 50歳代~70歳代
メンバー人数	6名
会館利用日	土曜日
メンバー募集	有・無
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	いつまでも健康でいられるように、無理しないで楽しく気持ちよく、椅子、ボール、タオルなどを使って体操しています ひざ、腰、肩が痛む方、予防と改善に体操しませんか

団体正式名称	囲碁部
設立年月	昭和60年ごろ創設 馬場耕造氏道具寄贈スタート
会館利用年数	約30年
主な活動内容	・囲碁に興味のある人全て誰とでも気軽に楽しめるよう活動している ・棋力(持点方式)により約200段階に区切りハンディをつけて対等勝負ができる ・毎回3~5名と4局程度試合する 勝てば+1、負ければ-1
構成員	出席者は7~8人程度(登録者は約50人) 会費:年間1000円~1500円 会費を出した人 常連で運営
メンバー人数	常連 7~8名
会館利用日	毎月1回 第3土曜日 午後1時~5時まで
メンバー募集	有・無 *常連をもう少し増やしたい 責任者:山本武則 TEL:861-0204
活動内容のこんなことを知ってもらえたら	〔持ち点方式〕最初は自己申告、しばらくすると自分の棋力が良くわかる初心者歓迎 最初は指導基となる 碁の打ち方パンフレットあり 他のグループ(下倉田ケアプラザ 富士ヶ丘 鋼管団地 幸ヶ丘)との付き合いが容易 上部団体 戸塚地区センターの戸塚区囲碁部の活動に参加可



JA女性部 下倉田支部



KSリズム体操倶楽部



囲碁部

「事業拠点」シリーズ④

「すまい」

消費税率の上昇を見据えて、家屋の改築、新築の駆け込み需要が盛んになってきています。町内会のあちこちで、以前にも増して建築ラッシュの光景が見て取れます。

今回は、そうした背景の中で、下倉田町内の「すまい」に関する事業拠点に触れてみることにしました。

まずは、住まいの基盤となる土地や住宅で事業展開をしているのは「山仁不動産」・「横浜エヌケーホーム」があり、住宅工事関係では、基礎工事・外溝工事中心の「戸塚吉原産業」、建築設計施工「深田工務店」や「大和田工務店」、社寺・数奇屋も得意とする「小杉工務店」、幅

広い対応の「吉森工作所」、宅地造成・下水工事も行う「樫村工務店」などがある。

住宅設備関係の視点から見ると、電力・空調設備工事の「神電工」、プロパンガスを中心とした「金子商会」などがそれぞれのニーズにあった事業を進めている。

隣町の上倉田には、システムキッチン、ユニットバス、石油各種燃料の「小野商店」、賃貸・管理・売買なども行っている「ヤマニコーポレーション」、すまいの修理・修繕を中心とした「ホームリペア」などがある。

住みよい町、暮らしに欠かせない事業拠点がたくさんあるのに驚かされる。

次号では「飲食」に関する観点でご紹介をしてみたいと思います。(樋口賢一郎)

編集後記

以前に情報記録媒体についてのテレビ番組があった。地球が滅亡した時代に宇宙人が探索にやってきた。情報が記録されたCDを見つけたが、劣化した記録媒体はまったく読み取れなかった。

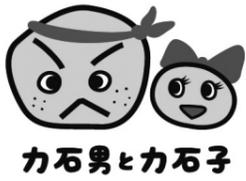
次に情報を記録した紙片を見つけたが、炭化して文字を読むことができなかった。最後に石碑が見つかった。これは問題なく情報を読み取ることができた。如何に科学技術が進歩しても、永い時を超えた情報伝達は困難だという象徴的な番組であった。

今回、町内会役員で下倉田の石史跡を巡ったが、予想以上に沢山の史跡があり、当時の文化や生活について思いをはせた。情報媒体の手段も大切であるが、もっと重要なのは先人の歴史文化に関心をもち、情報を伝えていく姿勢があるかどうか。大きいのはなかるうか。(中澤 清)

平成26年度 町内会主な行事予定

- 4月12日(土)・・・26年度総会
- 6月8日(日)・・・町内クリーンデー
消火箱取扱訓練
ファミリースポーツフェスティバル
- 7月26日(土)・・・納涼夏祭り
(下倉田少年広場)
- 9月13日(土)・・・八幡神社余興
- 9月14日(日)・・・神輿渡御
- 9月15日(月)・・・敬老祝品届け
- 10月12日(日)・・・地区スポーツレクリエーション
- 11月9日(日)・・・町内クリーンデー
- 11月16日(日)・・・豊田中学防災拠点訓練
- 11月22日(土)・・・町内バス&ハイク
- 12月5日(金)・・・防災懇談会
- 12月26日(金)・・・年末特別警備激励
- 1月10日(土)・・・賀詞交換会
- 1月24日(土)・・・町内会防災訓練
- 2月8日(日)・・・重要文化財防災訓練
健康ポロン大会

2014 年 11 月
第 39 号



わがまち下倉田

G30 のその先へ
ヨコハマ3R夢!

発行責任者：下倉田町内会会長 吉原 鋭一
編集責任者：広報文化部長 中澤 清
TEL 045-864-1940
印刷所：(有)豊田印刷所

下倉田町内会公式ホームページ：http://shimokurata.web.fc2.com/index.html

「責任・友情・誠実」 豊田中学校 校長 古谷 孝雄

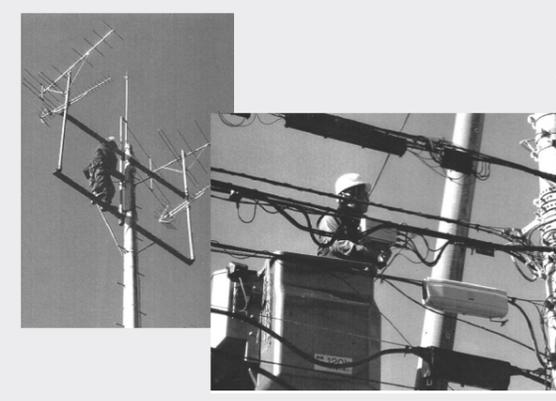


皆様、はじめまして。今年度から豊田中学校の校長に就任いたしました。どうした古谷孝雄と申します。どうぞよろしく願います。前任校長は、旭区のブーラシア動物園の隣にある上白根中学校でしたが、その前は戸塚中学校の対側にある泉区の領家中学校に勤務していました。領家中には、豊田中学校の前を通って通勤していましたが、まさか毎日見ている学校に着任できるとは思っていませんでした。特に、前校長の村本先生や私の妻も若い頃に豊田中学校に長く勤務し、豊田中学校や下倉田・上倉田等の地域の話もよく聞いていましたので尚更です。その頃より豊田中学校は文武両道で元気な学校という印象でしたし、家庭や地域は教育力が高く学校に協力的だと聞いていました。実際に着任し、生徒が学習や生徒会活動、ボランティア等に熱心に取組む姿や文化部・運動部が多方面で活躍する姿が見られ、嬉しさと頼もしさを感じました。さて、昇降口の入口には生徒努力目標「責任」「友情」「誠実」と書かれたプレートが掲げられ

テレビ組合の解散にあたり

下倉田中央地区テレビ組合 組合長 平松幸四郎

- 一、組合設立の経緯
昭和五十六年明治学院大学の戸塚校舎建設に伴い、町内の一部地域に電波障害が生じる懸念が発生した。
大学と日本アンテナ(株)より、その対策として受信施設とその運営を担う組合設立が必要であり、保障の相談をしたいと申し入れがあった。
町内会から交渉委員六名が指名された。私は当時四十四歳。当委員会では情報収集をもとに検討し交渉にあたったが、テレビ電波障害の難問をめぐる交渉が長期に続いた。(約二年)
二、組合の主な課題と取り組み
(1)台風、落雷等の自然災害による被害でテレビ映像が中断するなど問合せ電話が殺到し、家内共々その対応に二十四時間追われた事が再三あった。
(2)小松ヶ丘住宅公団の大規模宅地造成工事に伴う電柱移設工事等の費用負担折衝(対都市整備公団関東支社 約一年間)
(3)横浜市都市計画道路拡張工事に伴う受信点付近の幹線ポール移設の費用負担減額折衝(戸塚土木工事も関連し約一年)
(4)平成十二年前組合長の井野氏(七十四歳)の急死に伴い後任組合長となる。
(5)総務省の決定に先行し、平成二十二年六月にアナログ放送からデジタル放送に移行(受信施設の大改修)
(6)平成二十二年頃よりテレビ組合員の減少、役員の高齢化、新メディアの急激な発展等の情勢を勘案し、JCOM、マスプロ等関係業者とケーブルテレビ導入切替につき協議検討
(7)平成二十六年総会(平成二十六年四月十九日)で、ケーブルテレビ導入切替、組合受信施設



三、切替及び撤去工事
撤去準備はほとんど完了に近付き、解散は今年度内が目標。何れにしても、今日まで大過なく組合運営出来た事、組合員の皆様のご支援とご協力の賜物と存じ、この紙上を借りて組合役員一同厚く御礼申し上げます。

萬松寺の由来

萬松寺 住職 秋田展由

開山当時より鎌倉時代
開山の歴史は古く、およそ千二百年余り前。四十八代天皇「称徳帝」より、上、下倉田に食邑(穀物の取れる土地)を賜り、延暦四年に伝教国師を奉じて「萬松阿闍梨法印」が下倉田の自樂(現在の豊田中学校付近)に天台宗の寺で、「長福庵」という寺を開きました。この仏堂をもって当寺の始めと伝えられています。
鎌倉時代の再興
当山は、鎌倉五山第二位、臨済宗の大本山「円覚寺」の末寺で、山号は「南山」です。永正年間、三浦氏一族の家中吉原平助氏が、亡くなられた姉の菩提をとむらう為に、親類より出家した李温和尚を頼り、時の円覚寺十一世住持「南山土雲」禪師を勧請して臨済宗円覚寺派として再興されました。
室町、鎌倉時代より近代へ
当山八世、閑淑和尚の代に、自樂より現在の地に移り、今からおおよそ三百年余り前に境内の北側(現在の駐車場あたり)に「清涼池」を作池。寺の向かい側の岡に薬師堂「医光軒」を、現在の南谷戸バス停わきの小高い所(現在墓地になっている所)に阿弥陀堂「西方庵」をそれぞれ建立しました。享保四年、十二世竹巖和尚の代に庫裡を建立、「長福庵」を改め「萬松寺」と号するようになりました。安永初年(約二百五十年前)当山十八世、孤峰和尚は本堂を再建したり、六百巻からなる「大般若経」、「十六羅漢」掛け軸や多数の仏具を勧進により整え再興開山とされました。
平成の再建と現代
享保四年に建てられた庫裡、安永初年に建てられた本堂も老朽化が目立ち、昭和三十七年に当山二十六



世真洲和尚の代に改築されました。その本堂や庫裡も雨漏りなど老朽化が激しくなり、昭和の終わりにから平成の始めにかけ、本堂、庫裡の再建と書院の建築を計画し、平成六年十一月無事落慶の運びとなりました。
現代は、葬儀や法要、その後の会食などを、檀徒の方の御自宅で行うのが難しい住宅事情になってきております。以前のように組内の互助組織も機能しなくなっています。
そこで当山も、これからの寺のあり方を検討し、葬儀や法要、会食などのために客設の設備の充実や駐車場の確保に取り組みました。また、雨に濡れないため本堂に車寄せを設けたり、ご参列いただきやすいように扉を大きく開ける工夫等もいたしました。
景観を損なわず屋根を大きくせり出すには、宮大工の方に大変なご苦勞をおかけいたしました。おかげさまで、新しい時代にふさわしい、気品を保った立派な本堂が出来上がりました。
今回の建築と共に、自分自身もひとまわり大きくなり、「長福庵」開創以来千二百余年、それぞれの時代の人々が苦勞して守り伝えてきた法の燈を、檀家の方々と共に力を合わせて、次の時代の人々に伝えていかなければと思っております。

戸塚交通安全協会 下倉田支部の活動

副支部長 村里 正純

昨年補充として四名が、さらに今年九名が加わり、戸塚交通安全協会二十六年度下倉田支部が六月に発足しました。

六月十五日、下倉田町内会館において二十六年度下倉田支部第一回会合を持ち、顔合わせと支部長以下役員決めを吉原下倉田連合会長、三役出席のもとに行いました。

戸塚交通安全協会の目的は「交通秩序の維持改善を図り交通の円滑と安全を推進し、会員相互の親睦をはかる」となっています。

活動内容は「①交通事故の防止、②交通道德の高揚、③交通知識の普及・指導、④交通安全母の会の

育成指導、⑤自転車安全クラブの育成指導、⑥交通法令講習会開催、⑦その他」です。

役員の任期は、二年となっています。

下倉田支部では、本部方針に基づき活動の目的を「下倉田地区の交通安全を促進し、会員相互の親睦をはかる」としました。

活動内容は「①交通事故の防止、②交通安全意識高揚、③交通安全母の会やPTA、子供会との協力・連携、④各種安全活動の企画・推進、⑤その他」になりました。

妖怪・伝説物語 7

聞くも不気味、語るも不気味で奈落の底に落ちていく

古くは、鎌倉郡であった戸塚区、歴史もあり、いろいろな伝説が残っているようです。

今回はその第7回、閉ざされた妖怪・伝説の扉を紐解き、報告していきます。

馬から侍様がどんでん

落ちてく!?

(下倉田町 永勝寺の面かけ如来) むかし、むかしの話じゃ、室町時代、多くのいくさが行われたもんじゃない。

この時代、いくさにより、永勝寺のお堂も大分荒らされていったんだ。このころから、この寺の門前を馬に乗ったまま通り過ぎよう

習会、九月八幡神社お祭り、全国交通安全運動PR、十月下倉田地区スポーツレクリエーション大会、一月箱根駅伝等、沿道警備やPR活動、広報車による交通安全意識高揚を実施・予定しています。

旗振り誘導講習会では、多くの事を学びました。子供たちの視界が狭い事、大人のサポートにより事故を防ぐことができる、

旗に車を止める強制力はない、運転者に協力を求めることが重要、大型車は止めない(後続車の追突や脇をすり抜けるバイク・自転車の危険があるため) など、大変役に立つ内容でした。

また子供たちの見守りだけでなく、旗振りの当事者が車道に出ないことも重要な点です。新人ばかりで手探り状態ではありますが、先輩方の御指導と



僧はそういうと、村人の案内で永勝寺を訪れ、阿弥陀堂に向かったんだ。

そして、ひとつのお面を取り出し、阿弥陀如来さまのお顔にかけると、いざこともなく去って行ったそう。

その日をさかいに、永勝寺の門前を馬に乗った人が通っても、落馬することはなくなったんだ。これが、永勝寺に伝わる、面かけ如来さまの伝説じゃ。

講習会への参加等、積極的に学びながら諸先輩方の活動に恥じぬよう全員で頑張りますので、皆様のご指導ご協力をお願いします。



下倉田町内で放火事件

広報文化部長 中澤 清

戸塚区内で、昨年十月から今年にかけてトイレットペーパーの放火が六件ありました。

そのうちの二件が下倉田町内の公園で発生しています。(横浜市消防局データ)

たとえ公園のトイレットペーパーへの放火であっても、風が

◎解説

この阿弥陀如来像は今も残っており、親鸞聖人が鎌倉幕府時代に永勝寺に泊まられ、善光寺如来よりお告げを受けたことにより、善光寺如来を模して彫ったとされ、鎌倉初期のものとして、県の重要文化財に指定されている。

又、お面もまた残っており、写真を掲載しておく。



このお面、男か女か考えると、怖くて夜も眠れなくなる、

下倉田町内会 庶務部長 吉原 憲孝 (文とイラスト)

強ければ大火事になることもあります。

横浜市の火災原因のトップは放火です。

放火を防ぐために「放火されない、放火させない環境づくり」に努めることが大切です。

家の周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。

ゴミは決められた日の朝決められた場所に出すようにしましょう。

物置や車庫には鍵をかけるようにしましょう。

外出時や就寝時にも、施錠を確認しましょう。

また、外出時にはお隣やご近所に一声かけて、地域ぐるみの放火防止対策を推進しましょう。

崇仁学区(京都府京都市)では、平成八年八月ごろから放火による火災が二十三日も発生しました。さらに平成十年になると、住宅にも放火され、遂に負傷者や死者まで発生する事態になりました。

そこで崇仁学区自主防災会では、「災害に強いまちづくりの主役は住民であり、防災はまちづくりである」という認識のもとに、消火器の共同購入、赤色の防火バケツ・センサー

付ライトの設置、防火・防災タウンウォッチング、各家庭の外灯を終夜点灯など学区全体が団結し、総力をあげて放火対策に取り組みました。特に夜間パトロールが大きく功を奏したようです。その結果、同年十月中旬以降、放火火災は沈静化しました。

ここで大切なのは、住民が一体となって防火対策に取り組んだことだそう。住民一人一人の『放火を防ぎたい。まちを守りたい』という思いが結集して、学区全体が団結し、総力をあげて放火対策に取り組んだ結果である」と崇仁学区のホームページにも記載されています。

火災の中でも放火火災は最も防ぎにくい災害です。しかし、放火は他の犯罪同様に社会的な監視と管理がしっかりしていれば、その被害を最小限に抑えることもできます。地域全体のセキュリティ意識をあげることが大切なのです。

さあ、皆さんも家のまわりなを見回してみましよう。



下倉田百景



明治学院大学の山羊

明治学院大学のキャンパスには、三匹の山羊が、広い校庭の雑草を食べてきれいにしてくれています。メイ(明学)、もみじ(紅葉滝)とマイ(舞岡公園)。何れも一歳半の若い山羊です。ほとんど餌もいらず、たまにフスマを与え岩塩を舐めます。三匹は、学生の人気者です。

納涼夏祭り
永勝寺少年広場
七月二十六日(土)

今年も手作りの夏祭りが盛大に開催されました。昨年よりも大勢の二、三〇〇人の家族づれや子供たちが集いました。子ども会のバントワラーやダンス、豊田中学校ブラスバンド部の演奏で開演し、地域協力の沢山の夜店に長い行列が出来ました。ビンゴ大会や大抽選会は例年に引き続き大人気、子供たちも景品に大喜び。スイカ割りや太鼓体験も、大変好評でした。ぼんぼり絵も沢山集まり、みんなで楽しみました。



下倉田八幡神社祭礼・余興 9月13日(土)

2時から祭礼が行われ、5時から関連団体による売店が開店しました。5時半から手作りの出し物の演芸(12組)が披露されました。最後に抽選会が行われ、終りに雨が降りましたが無事に終了しました。



御輿渡御 9月14日(日)

- 本年度の渡御コース
- 下倉田八幡神社
 - 飛栄・グリーンパーク
 - 幸ヶ丘
 - 鋼管団地
 - 富士ヶ丘
 - 下倉田町内(南谷戸)
 - ブロードスクエア
 - 小松ヶ丘公園
 - 野村下倉田
 - 下倉田八幡神社



今年は御輿の担ぎ手が少なくなったため、コースを1本化しました。担ぎ手が増えればまたコースを増やします。伝統行事を活発化させるために、ぜひ来年の御輿には多くの方が参加してください。



スポーツレクリエーション大会の冒険

下倉田地区連合会 副会長 松核正浩

「三年間運動不足状態!」
今の下倉田地区のこと。これは、スポーツレクリエーション大会の話。

原因は、雨のせいだが、グラウンドコンディションが悪く、三年間中止が続いていた。自然現象には敵わないわけだが、今年度は是非にも催行したいと、豊田小学校のグラウンドを借用し、本当に久しぶりに、身体を動かそうということになった。もし当日、雨天の場合は翌日に順延し、その日も雨の際は体育館ということ、中止には持っていけない方策で臨んだ。豊田小学校のグラウンドはこれまで中央公園に比べると一回り狭くなったが、文化体育部の方たち、その状態でも出来る運動種目を考えていただいた。できるだけ、多くの方が参加できる種目を増やし、各自自治会(色チーム)毎の対抗戦も企画した。その結果、応援合戦も盛んになり、大いに盛りあがった。

準備する実行委員会側にも会場変更による多くのメリットがあった。

多くの種目の用具や机、テント等の備品それにトイレまでを学校より借用させていた。各項目に快く参加協力を申し出た方々も、その意気が通じた。当日は、近隣の学生によるバトン部、チャリダー、ブラスバンド等も花を添え、賑やかに開催でき大成功であった。FM戸塚のマスコミもこの「さくらととちちゃん」も大人気であった。

このくらい冒険はやつても良いのでは。その結果、やはり広いほうが良いとなれば、元に戻せば良い。しかし、曲がり角の先はそこまで行ってみたいとわからない。これからも、もっともつと冒険してみよう。「行ってみよう!」応援しよう!。そして参加しよう!。スポレク大会」

**第13回下倉田地区連合会
スポーツレクリエーション大会
10月12日(日) 豊田小学校第2グラウンド**

台風の間際のラッキーな天候に約1,100名の来場者・参加者が初の会場「豊田小学校グラウンド」に集い、楽しい1日を過ごしました。



1位:青チーム 2位:紫チーム 3位:黄チーム



チームカラー	町内会・自治会
紫チーム	下倉田町内会①
緑チーム	下倉田町内会②
赤チーム	鋼管・リベラヒルズ・コスモ戸塚
桃チーム	野村下倉田・グリーンパーク・飛栄
橙チーム	ブロードスクエア・小松ヶ丘・小松ヶ丘公園
青チーム	富士ヶ丘
黄チーム	幸ヶ丘

11	⑩	9	8	⑦	昼食	⑥	5	4	③	2	1	アトラクション	順番
大玉ころがし	宅配便レース	幼児競争	パン食い競争	運が良ければ	ブラスバンド	デカパンリレー	玉入れ	汽車ぽっぽ	チャリディング	ハリケーン	スプリンレース	モーニングタイム	バントワリング
全員	小学生以上	未就学	小学生以上	小学生以上	豊中吹奏楽部	小学生以上	小学生以上	未就学、3年・高齢者	未就学、3年	小学生以上	来賓・高齢者	小学生以上	下倉田バトン部

丸数字は対抗種目

八幡神社の祭礼・余興

下倉田町内会では、近隣の学校や組織、自治会などとコラボレーションを積極的に推進する事を方針としています。

今年は、町内会の担ぎ手が少なくなつた神輿渡御に明治学院の学生に助け人をお願いしました。

地域との繋がり

下倉田町内会の樋口さんにお声掛けいただき、戸塚まつり準備会のメンバー八人で神輿渡御に参加させて頂きました。

戸塚まつり準備委員会は、毎年五月に明治学院大学横浜キャンパスで開催される地域に根差した大学祭「戸塚まつり」を運営しており、今年度は下倉田町内会など多くの住民の方にもご協力いただきました。

その恩返しや更なる交流も兼ねて初めて参加させて頂きました。が、老若男女問わず多くの方が参加し、活気に満ち溢れていたのが印象的でした。

最初は手順が分からず戸惑いましたが、地域の方々のお心遣いやサポートのおかげで非常に楽しく時間をすごすことができました。学生に対しても気さくに話しかけてくださり、参加する事ができて本当に良かったと感じました。

今年は、七月末の納涼夏祭りにもお邪魔し、みなさんと盆踊りを踊るなど、これまで以上に地域との絆を強めることができましたように感じております。ここで生まれた繋がりを今後も引き継いでいければと思います。

明治学院大学三年 室山千夏

あゝ、またやつちやつた。 「高校3年生」

昨年に引き続き二度目の舞台を経験させて頂きました。

自分で言うのも何ですが、初舞台の昨年とは違い、多少気持ちに余裕ができ、かなり落ち着いて出来たように感じました。

また、年々高まる声援が何ともいえぬ心地よい気持ちにさせてくれ、益々ハマリそうに「やばい・す・す」

今から八年前、神社の祭りに初めて参加させて頂きました。たった一人からのスタートでした。役員の任期が一年交代では、「じっくり神社の祭りを楽しむ」そんなゆとりが出来るわけありません。

グリーンパークの役員として八年目を迎えました。が、神社での「宵宮」や「神輿渡御」等、わがマンションも少しは手伝い出来るようになって来たので「思ひ上がり？」

神社のお祭りは、自治会と地域を繋ぐ大変重要な行事です。いろいろな意味で我々を成長させてくれる大切な行事であると感じています。この重要で大切な「行事」にグリーンパークとして少しでも長くかかわる事が出来ればと思つて居ります。

戸塚ヒルズ自治会 小澤 勝

フラメンコ

私達がフラメンコで演芸大会に出るようになって、今年で五回目になりました。

初めの頃は、踊りや踊りの時に下に敷く板の事など不安でいっぱいでしたが、最近では慣れてきたこともあり楽しんで踊れるようになりました。

一つ残念なことは、一緒に踊るメンバーに熱海の方や平塚の方もおられ、帰宅時間を考えると屋台のビールや食べ物も味わう余裕がないという事です。

私が、この下倉田に住んで五十年が経ちました。近所のおじ

さん、おばさん、同級生や友達がたくさん見に来てくれるので、とても励みになっていきます。

来年に向けて、新しい踊りを覚えたいと張り切っています。

下倉田町内会の皆様いつもご協力ありがとうございます。

野村下倉田自治会 江頭房恵

「模擬店を手伝って」

下倉田地域ケアプラザで地域交流担当をしていますコーディネートターの佐藤(さなご)です。

九月十三日土曜日の下倉田八幡神社お祭りへ、下倉田地区社会福祉協議会さんが「焼きそば」の模擬店を出されましたので、お手伝いで参加させて頂きました。

日頃から、下倉田地域で行われている催しや各町内会自治会さんが行われているお祭りへ訪問させて頂き、お邪魔する立場で地域の方々と交流をさせて頂いておられます。

今回のお祭りでは焼きそばの

「事業拠点」シリーズ⑤

「飲食」

「衣食住」は生活の基盤、特に「食」は欠かせない要素。

今回は、「すまい」を取り上げて拠点を紹介いたしました。が、今回は「飲食」という幅広いジャンルで、下倉田町内を覗いてみたいと思います。

スーパー、コンビニには、ヤマニストア、マインマート、HAC、十月開店のアルズ戸塚店、ファミリーマート、ローソンなどがある。

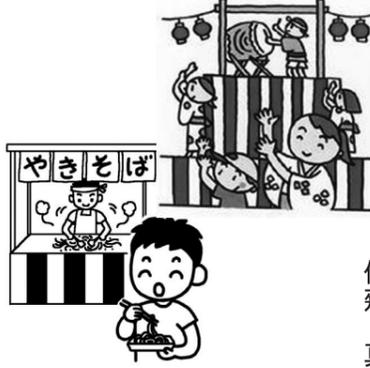
食事処としては、あぶり屋、牛まる、蕎麦、かつ亭、モンテベルデ、ふじみ、八十一蕎麦、吉祥飯店、ラーメン六角家などそれぞれが和洋中の食材を提供し地元を根付いている。

調理を担当させていただき、地域の方々と一緒にお祭りを盛り上げる一員として参加させていただき、充実した時間を過ごさせて頂きました。

普段から、下倉田地域ケアプラザ主催の催しや講座では地域の方々にご協力をお願いすることが多いのですが、今回はお祭りを盛り上げる一員として参加することで、いつもとは違う立場で地域の方々と交流することができ、地域活動の楽しさや大変さを改めて感じる事が出来ました。

下倉田地域ケアプラザ

佐藤 真



また、パンのペティスコ、和菓子の松月堂等も、店舗を構えて食の一端を担っている拠点だ。下倉田町内には、小料理屋、スナックといった店々が多く見られる。

小料理屋信州、ゆう子、海鮮さか田、居酒屋花の里、そしてスナックのカリフ、ヤング、愛、9月に開店したあかり、など。

お隣の富士ヶ丘自治会内を見てもみると、うなぎなかつ、サルデー、チコリ、サミット、などもこのジャンルに入っている。

いずれにしても日々の生活の中に根付いている「飲食」の事業拠点は、地域との共存を目指して頑張っておられます。

これ以外にも沢山の店舗があると思えますが、記載が漏れていけばご容赦ください。

樋口賢一郎

初詣は地元で迎えては！

今年も残り一ヶ月余りと少なくなつて来ました。

皆様は、初詣はどこに行かれておられますか？

大晦日の夜の「除夜詣」と元旦の朝の「元旦詣」があります。特に大晦日に家を出て、地元の神社仏閣で新年の無事と平安を祈願するのは気が引き締まる思いになりお勧めです。

地元の初詣スポットを、三ヶ所紹介します。

下倉田八幡神社では、氏子の方々が新春を迎え境内を綺麗に掃除され、お札、破魔矢などの売店が出たり、甘酒、お神酒などが振舞われます。

一月中旬には、どんど焼きの行事が開催され、お正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢、祈願成就した「だるま」などを持ち寄って焼き、その火にあたり、餅を焼いて食べて無病息災を願います。

永勝寺の大晦日には、除夜の鐘を参拝客が祈りを込めて撞くことができ、若者たちにも人気のスポットになっています。

ここでも檀家の方々が甘酒などを振舞われており、新年の夜明けを迎えすがすがしい中、とても体が温まります。

南谷戸方面では、萬松寺があり、初詣客でにぎわっています。

客殿で会食が行われ、檀家の人たちの楽しい歓談の場となります。

除夜の鐘として、一般の方も半鐘を鳴らすことができます。

「一年の計は元旦にあり」

日頃身近な場所にある神社や寺ですが、元旦にはご家族でそれぞれのスポットに出かけて、抱負と決意を新たにす節目にしてはいかがでしょうか。

是非、来年は地元での初詣を迎えてみてください。

(下倉田町内会 広報部)

編集後記

最近、特に大きな被害をもちます洪水、土砂災害、地震、火山の噴火等々、自然災害が連続して起こっています。

「災害は思わぬ時にやってくる」とはよく言われる事ですが、日頃から、家族で災害が起こったらどうするかを相談しておく必要があります。避難場所の確認、安否情報の手段・方法、非常持ち出し品の確認等々。

「自分の身は自分で守る」が、突然の災害に対応するための第一原則です。



平成26年度下期 町内会主な行事予定

- 11月5日(水)：町内会防災訓練
- 11月9日(日)：町内グリーンデイ
- 11月16日(日)：豊田中学防災拠点訓練
- 12月5日(金)：防災懇談会
- 12月6日(土)：下倉田ミニステリーウォーク&ゲーム
- 12月23日(火・祝)：年末臨時理事会
- 12月28日(日)：年末特別警備激励
- 1月10日(土)：賀詞交換会
- 2月8日(日)：健康ボリング大会

下倉田町内会でも、定期的に防犯パトロールを実施し、消防箱取扱訓練、防災拠点訓練、防災懇談会など数々の防災のための催しを実施しています。

あなたも、町内会の活動に積極的に参加し、防災の知識や体験を通じて自己防衛に備えてはいかがでしょうか。

(中澤 清)